

形式	VT-F450	
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン VHS 方式(NTSC準拠)	
録画再生時間	3倍モード 8時間(T-160 使用時) 標準モード 2時間40分(T-160 使用時)	
テープ速度	3倍モード 11.1mm/秒、標準モード 33.4mm/秒	
テープ幅	12.7mm	
使用カセット	VHS タイプビデオカセット	
ヘッド数	4 (2:映像用 2:Hi-Fi音声用)	
VHF出力	1, 2チャンネル切換え可能	
映像入力	1.0Vp-p, 75Ω不平衡	
映像出力	1.0Vp-p, 75Ω不平衡	
音声入力	ライン: -7.8dBs(316mVrms), ハイインピーダンス	
音声出力	ライン: -7.8dBs(316mVrms), ローインピーダンス ヘッドホン: 適合インピーダンス8Ω~2KΩ	
音声トラック	3トラック (Hi-Fi VHS音声2トラック: ステレオ録音/ステレオ再生) (ノーマル音声 1トラック: モノラル録音/モノラル再生)	
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ: 90dB以上 周波数特性: 20Hz~20KHz ワウ・フラッター: 0.005%	
早送り・巻戻し時間	約3分(T-120使用時) ●高速巻戻し時: 約2分	
許容動作温度	5℃~40℃	
許容相対湿度	80%以下	
電源	AC100V, 50/60Hz共用	
消費電力	約25W(タイマーのみ動作時約6W)	
外形寸法	(幅)43.5×(高さ)9.4×(奥行)37.0cm	
重量	本体6.6kg	
付属品	ワイヤレスリモコン.....1個 分波器.....1個 (VT-RMP20) 混合器.....1個 アンテナアダプター.....1個 映像・音声コード.....1本 同軸ケーブル.....1本 単3乾電池.....2個 電源コード.....1本	

●本機の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

MEMO

購入店名 後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるときにお役に立ちます。

電話 () 購入年月日: 年 月 日

ご使用方法のご相談は、お買い求めの販売店が承っておりますが、販売店と連絡が取れないなどお困りの場合は、下記へお気軽にお問い合わせください。

★日立エコー(らし)ダイヤル 家電品のお買物相談は...
☎0120-312111
(フリーダイヤル・無料 年中無休9-20時 東京で受発)

日立家電販売株式会社

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12
電話(03)502-2111

取扱説明書

目次

はじめに

特長.....	2
お使いになる前に.....	2
オートヘッドクリーニング機能について.....	3
各部のなまえ.....	4

基本の使いかた

テープの出し入れ.....	9
リモコンの使いかた.....	10
時計の合わせかた.....	12

テレビ番組の録画

見ている番組を録画するとき.....	14
録画しながら別の番組を見るとき.....	16

テープの再生

録画したテープを見る.....	18
いろいろな再生.....	21
見たい画面のさがしかた.....	22

タイマー録画

クイックタイマー録画.....	23
タイマー録画.....	24
予約の確認と取り消し.....	28

便利な使いかた

画面表示.....	30
お好みセレクト.....	31
便利な画面のさがしかた.....	32
オフタイマー.....	35
その他の便利な機能.....	36
テープのダビング.....	38
オーディオ録音.....	39
衛星放送の録画.....	40

ご自分でビデオを設置するには

アンテナ線の接続.....	42
映像・音声コードの接続.....	45
受信チャンネルの合わせかた.....	48

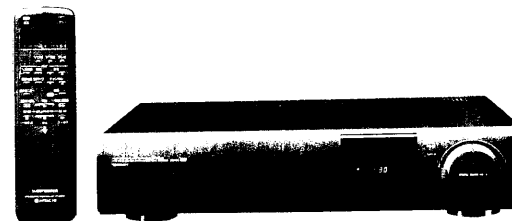
安全にお使いになるために..... 52

故障かな...というときは..... 54

専門用語の解説..... 58

索引..... 59

仕様..... 裏表

日立ビデオデッキ
VT-F450形

このたびは、日立ビデオデッキをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

製造番号は品質管理上重要なものです。
お買い上げの際は、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。



このビデオは **VHS** 方式のビデオです。
VHS マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。



このマークのついたビデオは、**VHS** 高品質技術が採用されています。
なお、従来方式のビデオとは互換性があります。

特長

S-VHS簡易再生

S-VHSで録画されたテープも簡易的に再生できます。
 ※S-VHS本来の高解像度は得られません。また、本機ではS-VHS録画はできません。

おそうじヘッド

(オートヘッドクリーニング)

ビデオヘッドを清掃し汚れを防止します。

レンタルプレイ

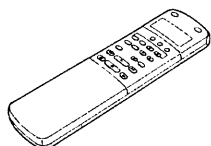
レンタルテープなど「つめ」の折れたテープを入れると、自動的に再生を始めます。またテープが終わると自動的に巻戻したあと、テープが出て来ます。

テープリフレッシュ

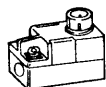
録画を何回もくり返したテープの消し残り部分などを解消します。

お使いになる前に

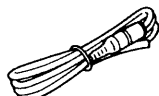
付属品がそろっているかご確認ください。



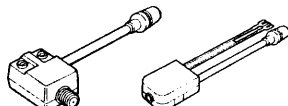
ワイヤレスリモコン……1個
(VT-RM P20)



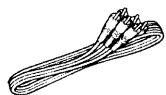
アンテナアダプター……1個



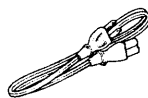
同軸ケーブル……1本



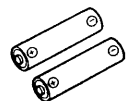
混合器……1個 分波器……1個



映像・音声コード……1本



電源コード……1本



単3乾電池……2個

この取扱説明書の見かた

■この取扱説明書は、次のように構成されています。

はじめに	本機でできることの概要と各部のなまえが書いてあります。
基本の使いかた	録画、再生、タイマー録画のしかたを説明してあります。
便利な使いかた	本機でできる便利な使いかたについて説明してあります。
ご自分でビデオを設置するには	アンテナ線やテレビとの接続、チャンネルの合わせかたを説明してあります。
安全にお使いになるために・他	ご注意、専門用語の解説、索引などが書いてあります。

- ご自分でビデオを設置するときは、最初に「ご自分でビデオを設置するには」(41~51ページ)をお読みください。
- 「安全にお使いになるために」(52ページ)は、必ずお読みください。

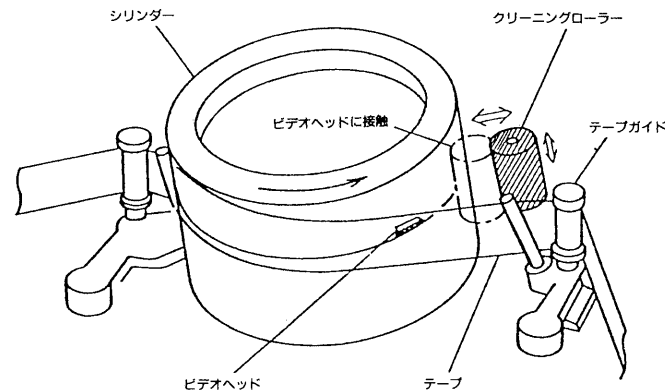
■この取扱説明書の見たいところをさがすには、次の方法が利用できます。

- 「目次」(表紙)でさがす。……対応するページの右端面にマーキングがしてあります。
- 「各部のなまえ」(4~8ページ)でさがす。
- 「索引」(59ページ)……最後のページをめくるとすぐ見ることができます。

オートヘッドクリーニング機能について

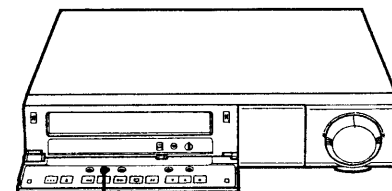
次の操作をすると、オートヘッドクリーニング機能が働きビデオヘッドの清掃をします。

- ビデオカセットを入れた直後または取出すとき。
- ビデオカセットが入っている状態で電源を「入」または「切」にしたとき。



■ヘッドクリーニングボタン

テープを再生したとき、画面が下の写真のようになるときは、ヘッドクリーニングボタンで次のようにヘッドをクリーニングできます。



- 1 ビデオカセットを入れ、停止状態にする。
- 2 ヘッドクリーニングボタンを一回押す。
 - ヘッドクリーニングが始まります。一回のクリーニング時間は約10秒間です。
 - ヘッドクリーニング中はテレビ画面に「HEAD CLEANING」が表示されます。
 - ヘッドクリーニング中は多少、音がしますが故障ではありません。
- 3 テープを再生し、映りが良くなったか確認する。
 - 映りが良くならないときは、この2、3の操作を数回くり返す。

ご注意:

- ヘッドクリーニング操作を何回やっても、映りが良くならないときは、別売りのヘッドクリーニングテープ(T-CL01、または、AV-210)をご使用ください。
- ヘッドクリーニング機能はビデオヘッドの清掃はしますが、音声ヘッドの清掃はしません。



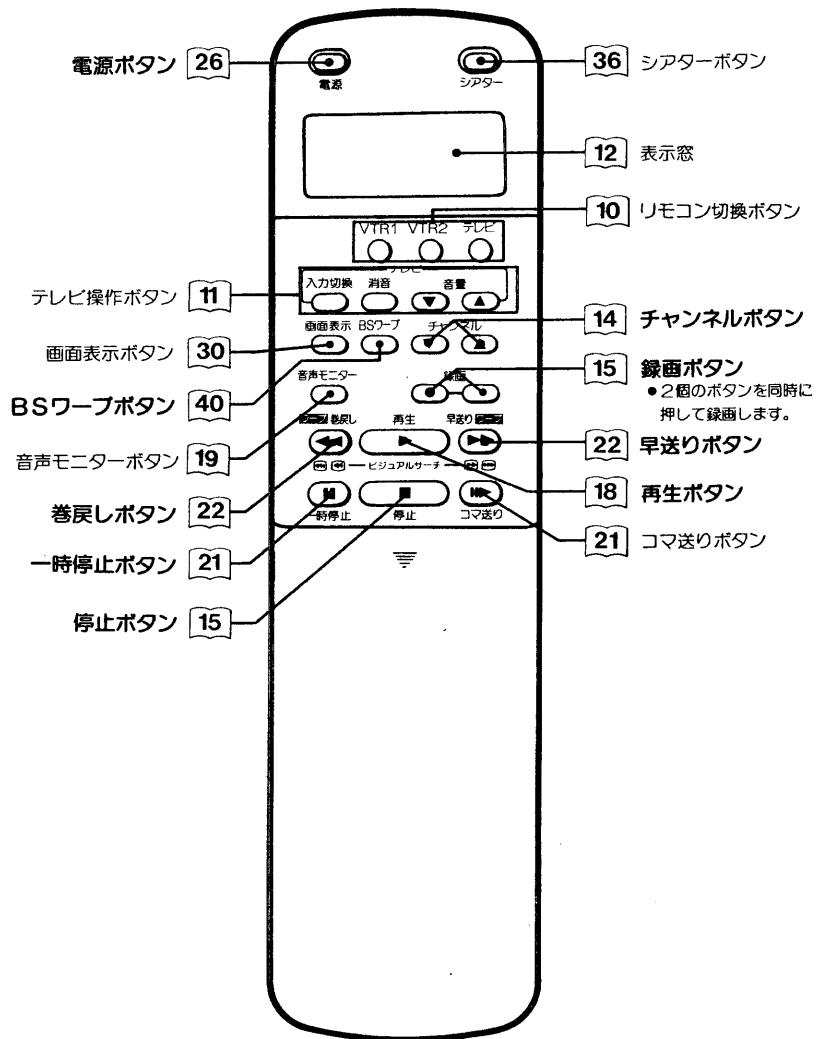
各部のなまえ

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

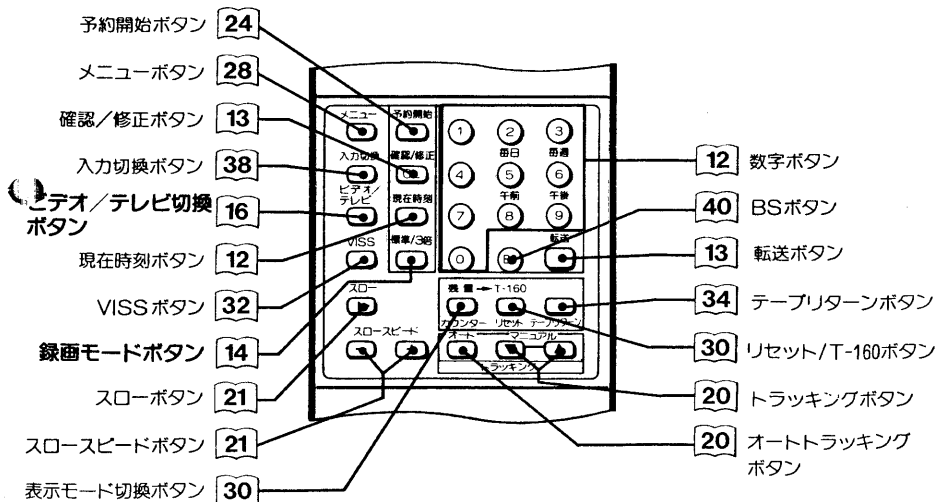
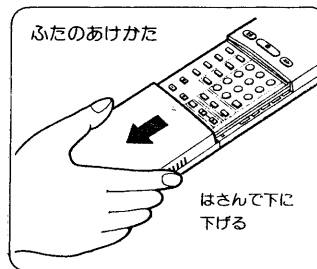
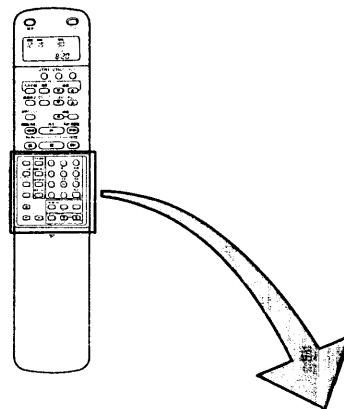
(この説明書はリモコンでの操作を
主体に説明しています。)



□のボタンはリモコンだけにあるボタンです。(本体にはありません)



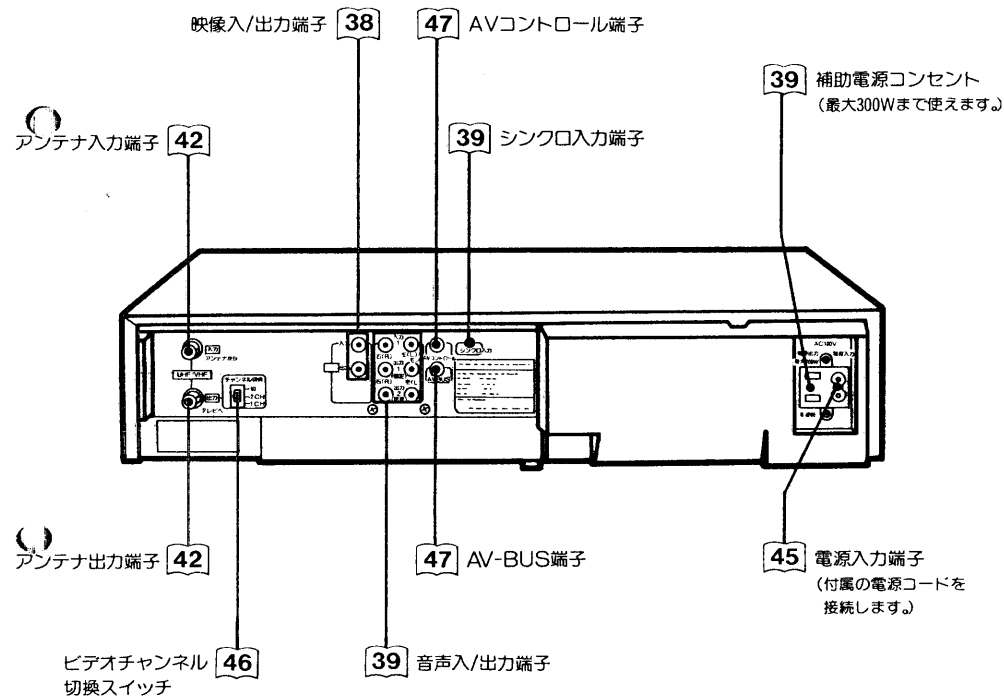
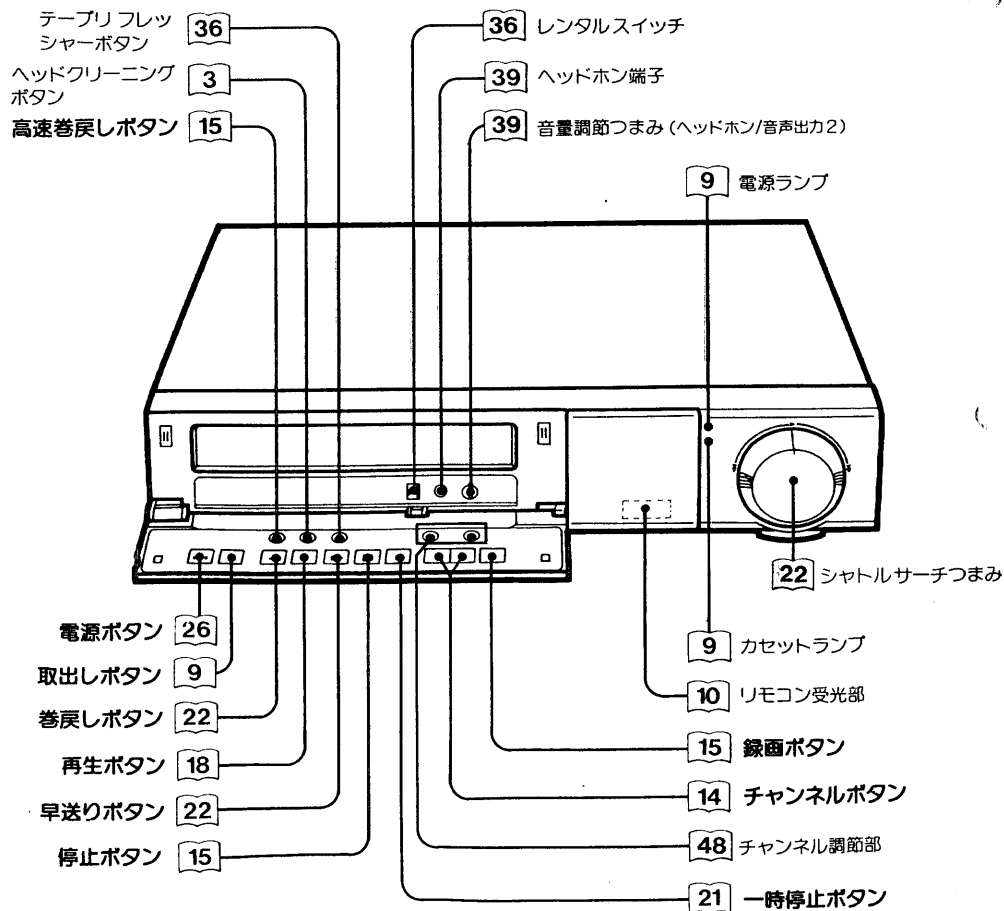
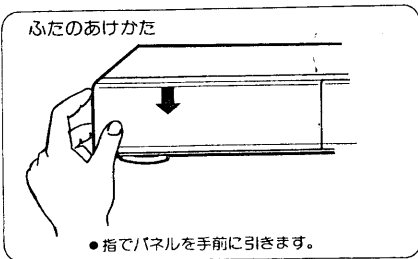
■ふたの中のボタン



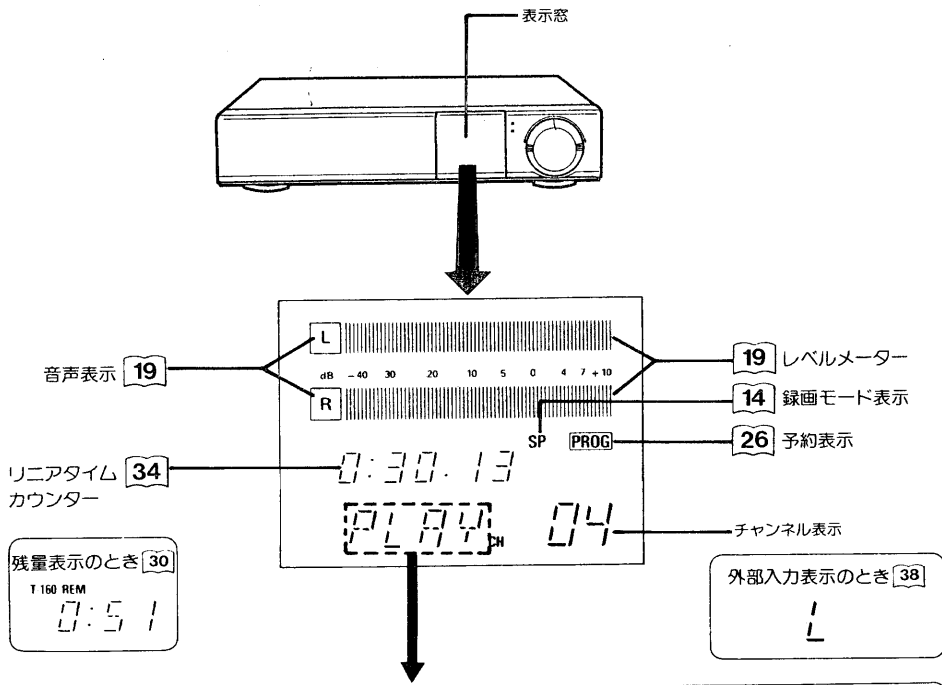
各部のなまえ(つづき)

内の数字は詳しい説明のあるページです。

前面 のボタンは本体だけにあるボタンです。(リモコンにはありません)



各部のなまえ(つづき)



ビデオの操作に応じて表示が次のように変わります。表示の一例です。

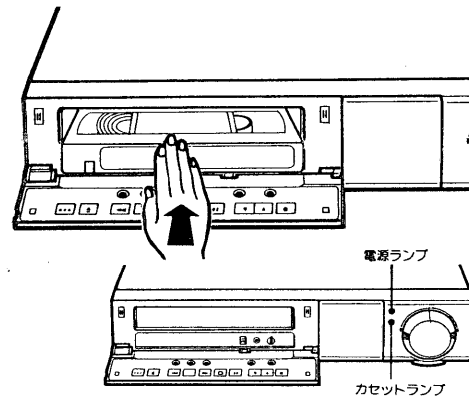
表示	ビデオの操作または状態	表示	ビデオの操作または状態
HELLO	電源を入れたとき	BILNG	二重音声放送を受信中
BYE	電源を切ったとき	STEREO	ステレオ放送を受信中
PLAY	再生中	VTR	ビデオモードを選んだとき
REC	録画中	TV	TVモードを選んだとき
FF	早送り中	TRACK	オートトラック動作中
REW	巻戻し中	TUNE	受信チャンネル調節時
CUE	早送り再生中	SLEEP	オフタイマー操作時
REV	巻戻し再生中	FRESH	テープリフレッシュ中
SLOW	スロー再生中	VISS	VISS信号記録時
STOP	停止したとき	STILL	静止画再生中
TIMER	タイマー(ウィックタイマー)録画待機中	R-PLY	RENTAL PLAY (YES) を選んで動作中
T-REC	タイマー(ウィックタイマー)録画中	S-REW	高速巻戻し中
WARP	ワープサーチ中		

テープの出し入れ

本体操作部のふたをあけてから行います。

入れかた

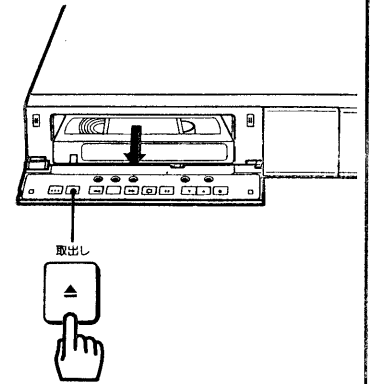
中央部を押しながら入れる



- 自動的に電源が入り、電源ランプとカセットランプが点灯します。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。
- カセット挿入口に手や異物を入れないでください。ケガや故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

出しかた

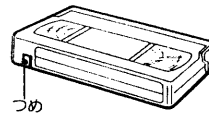
取出しボタンを押す



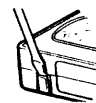
- 電源を入れなくてもテープを取り出せます。

テープの「つめ」について(誤消去の防止)

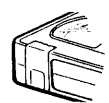
誤消去防止



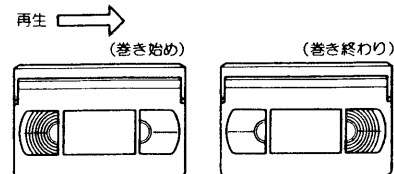
大切な録画を誤って消さないために



ふたたび録画するときは



テープの走行方向について



- ビデオテープは裏返しては使えません。

テープの録画時間について

テープの種類と録画時間

テープの種類	SP(標準モード)	EP(3倍モード)
T-160	2時間40分	8時間
T-140	2時間20分	7時間
T-120	2時間	6時間
T-90	1時間30分	4時間30分
T-60	1時間	3時間
T-30	30分	1時間30分

リモコンの使いかた

ビデオを操作するとき

お使いになる前に
付属の乾電池を入れてください。

1 ふたを開ける



2 乾電池を入れる



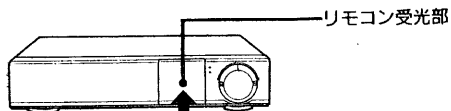
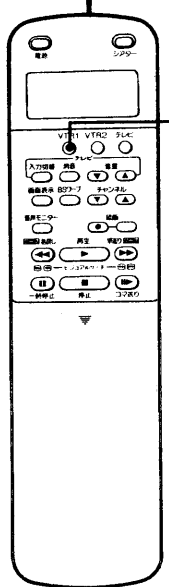
⊕と⊖を
図の向きに入れてください

3 ふたを閉じる



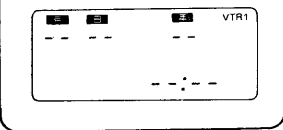
乾電池について

- 乾電池の寿命は通常のご使用で約1年です。リモコンの到達距離が短くなったり、表示窓の文字が薄くなったときは乾電池を交換してください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使わないでください。また種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
- ショートさせたり、分解、加熱、また火に投入したりしないでください。

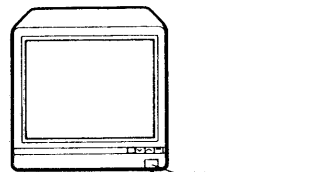
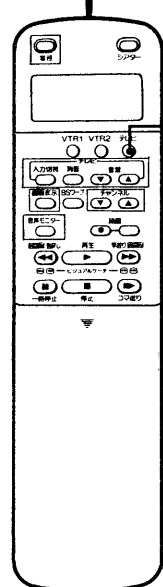



VTR1 VTR2 PLAC

VTR1ボタンを押して表示窓に「VTR1」を表示した後、操作したいボタンを押す。

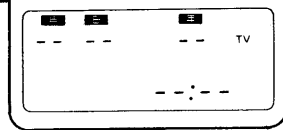


テレビ操作をするとき

リモコン受光部

テレビボタンを押して表示窓に「TV」を表示した後、操作したいボタンを押す。



□のボタンが使えます。

- 入力切換、消音、音量ボタンはテレビボタンを押さなくても、直接ボタンを押すと、テレビの操作ができます。
- 電源、画面表示、チャンネルおよび音声モニターボタンはテレビボタンを先に押した後、操作するとテレビの操作ができます。

こんなときは……

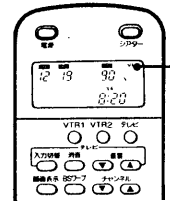
- リモコンで操作できるテレビは……
 - 昭和60年以降に発売された、当社製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどが操作できます。
- リモコンが働かないときは……
 - 表示窓のモード表示を確認します。ビデオを操作するときは「VTR1」が、テレビを操作するときは「TV」が表示されていることを確認します。

●このビデオは「VTR1」でビデオの操作ができるように調節されています。

●また、このリモコンで2台のビデオが操作できるように「VTR2」モードがあります。詳しくは[37]

- 乾電池が正しく入っていない。
[10]でもう一度確認してください。
- 乾電池を交換するときは、古い乾電池を抜いてから、約30秒たってから新しい乾電池を入れてください。
リモコンの表示窓が誤表示したり、ビデオの操作ができなくなることがあります。
- 障害物がある
ビデオとリモコンの間に障害物があると、リモコンからの赤外線がビデオに届きません。
- 距離が離れすぎている
ビデオ(テレビ)から約7メートル以上離れると操作できないことがあります。

- リモコンで操作したときは……
 - ボタンを押して送信している間、モード表示が点滅します。



モード表示

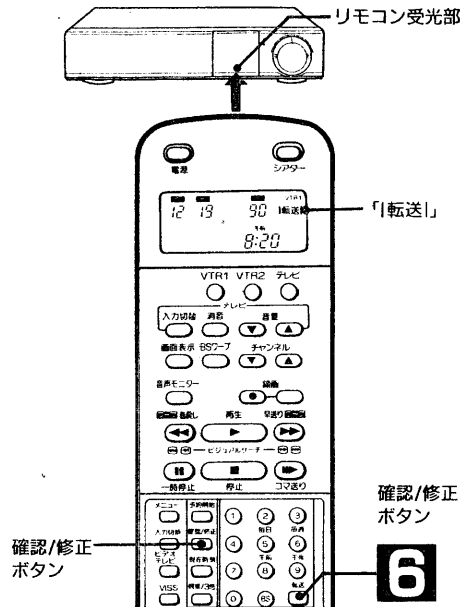
時計の合わせかた

- 時計を合わせるときは、最初にリモコンの時計を合わせ、その後、ビデオの時計を合わせます。
- ビデオの時計を合わせておかないと、クイックタイマー録画やタイマー録画ができません。
- ビデオの電源の入/切に関係なく時計を合わせることができます。

たとえば……
午前8時20分
西暦1990年12月19日
に合わせるとき

1・5

2~4



こんなときは……

- 合わせている途中で間違えたとき
 - 確認/修正ボタンを押し、点滅を間違えたところまで戻してから修正します。
- 合わせている途中で表示が消えたとき
 - 操作が約1分以上中断すると、それまで合わせた内容が消えてしまいます。もう1度合わせ直してください。
- 合わせたあと、間違いに気がついたとき
 - 現在時刻ボタンを押して、リモコンの表示窓に「転送」の文字を表示させた後、確認/修正ボタンを押して、点滅を間違えたところまで進めて修正します。
- ビデオの時計を合わせ直すとき
 - リモコンの時計を上の手順で修正した後、ビデオに転送します。
- 停電があると
 - 約30分以上停電すると、ビデオの時計は「---:---」となります。このときは、現在時刻ボタンを押した後、転送ボタンを押してビデオに転送します。

<p>1 現在時刻ボタンを押す</p> <p>(リモコンの表示窓)</p>	<p>2 時刻を合わせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「午前」に合わせるときは ⑧ を押す。 ● 「午後」に合わせるときは ⑨ を押す。 	<p>3 月・日を合わせる</p>	<p>4 年を合わせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「年」は西暦の下2けたを合わせる。(1990年は90に合わせます) 	<p>5 時報などに合わせて現在時刻ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これでリモコンの時計を合わせることができました。ビデオの時計を合わせるときは ⑥ の操作をします。 	<p>6 転送ボタンを押す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンをビデオのリモコン受光部に向けて転送ボタンを押す。 ● ビデオの表示窓に時刻が表示されます。 <p>(ビデオの表示窓)</p>
--	--	--------------------------	--	---	---

● ひとけたの数字を合わせるときは、初めに ⑩ を押します。

● 曜日は自動的に表示されます。

● リモコンの時計はこのときから時計動作を始めます。

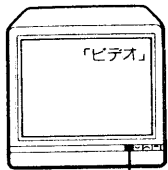
● ビデオの時計はこのときから時計動作を始めます。

テレビ番組の録画

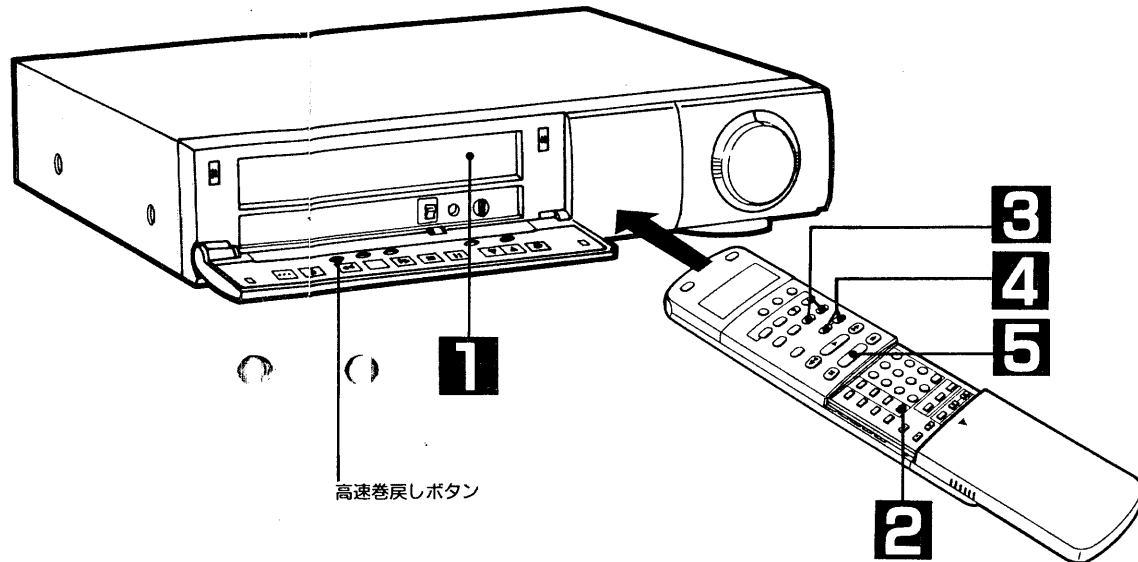
見ている番組を録画するとき(同時録画)

テレビの準備

1. テレビの電源を入れる。
2. テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。



入力切換ボタン



高速巻戻しボタン

録画をやめるときは

テープを早く巻戻したいときは

<p>1 「つめ」の折れていないテープを入れる</p> <p>「つめ」</p>	<p>2 録画モードを選ぶ</p> <p>標準/3倍</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ボタンを押すたびに「SP」(標準)と「EP」(3倍)に切りかわり、ビデオの表示窓に表示されます。 	<p>3 録画したいチャンネルを選ぶ</p> <p>チャンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの⑩～⑪のボタンでもチャンネルを選ぶことができます。 	<p>4 録画ボタンを押す</p> <p>録画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 録画が始まります。 	<p>5 停止ボタンを押す</p> <p>停止</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 録画が終了します。 	<p>高速巻戻しボタンを押す</p> <p>←← 高速巻戻し</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常の巻戻しに比べ、約1.5倍の速さ(T-120使用時)で巻戻すことができます。 ● 高速巻戻し中はビデオの表示窓に「S-REW」が表示されます。 ● オートリワインド時は高速巻戻しをしません。
--	--	---	--	--	--

● 画質や音質を重視するときは「SP」(標準)を選びます。

● テレビに選んだ番組が現れないときは、ビデオ/テレビ切換ボタンを押す。



● 「つめ」の折れたテープが入っていると、テープが出てきます。

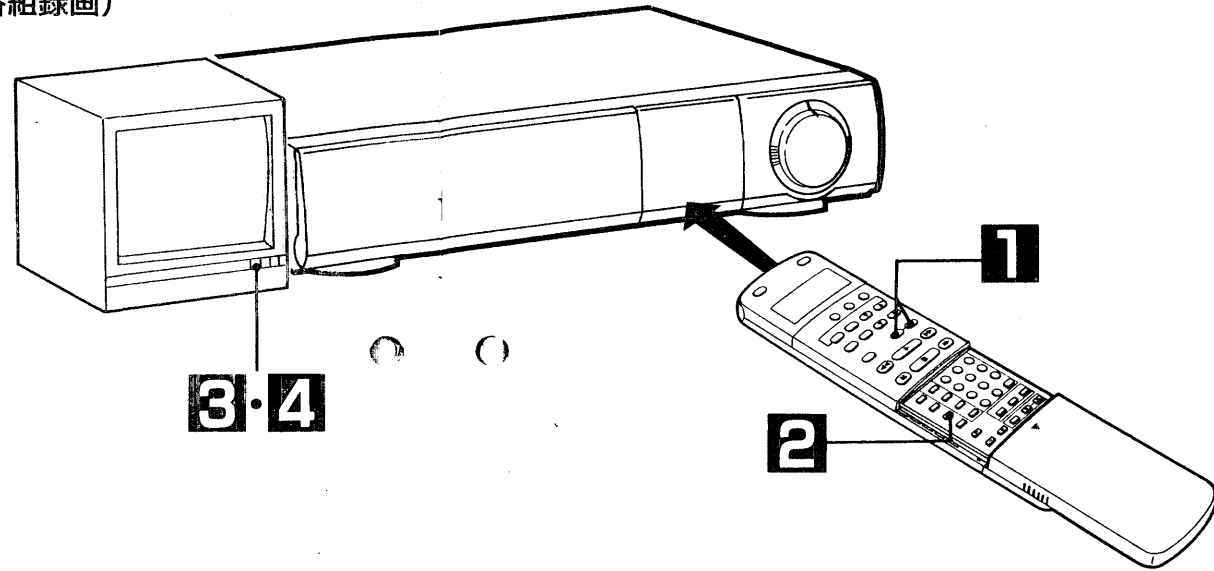
● テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

● テープの最後まで録画すると自動的に巻戻します。(オートリワインド)

● 録画したテープを見たいときは、巻戻しボタンを押して、テープを巻戻した後、再生します。

テレビ番組の録画(つづき)

録画しながら別の番組を見るとき(裏番組録画)



1 録画を始める

●前ページの1~4の操作をして、録画を始めます。

2 ビデオ/テレビ切換ボタンを押す

●表示窓に「TV」の表示が約5秒間現われます。

3 テレビの入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ

4 テレビを見たいチャンネルに合わせる

●テレビで選んだチャンネルが画面に現われます。
●ビデオで録画している番組は変わりません。録画をやめるときは停止ボタンを押します。

こんなときは

■録画中に別の番組に切換えて録画したいとき

- 一時停止ボタンを押した後、チャンネルを切換える。

●チャンネルを切換えた後、一時停止ボタンをもう一度押すと、録画が始まります。

■録画中に不要な場面(コマーシャルなど)を飛ばして録画したいとき

- 一時停止ボタンを押す。

●テープ走行が一時的に止まります。
●もう一度ボタンを押すと、再び録画できます。
●録画一時停止を約5分続けると、テープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

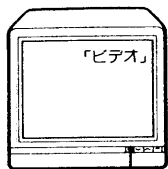
●テレビのチャンネルボタンで見たいチャンネルに合わせるときは、ビデオ/テレビ切換ボタンで「TV」を選んでください。

●テープの最後まで録画すると、自動的に巻戻します。(オートリワインド)
●録画したテープを見たいときは、巻戻しボタンを押して、テープを巻戻した後、再生します。

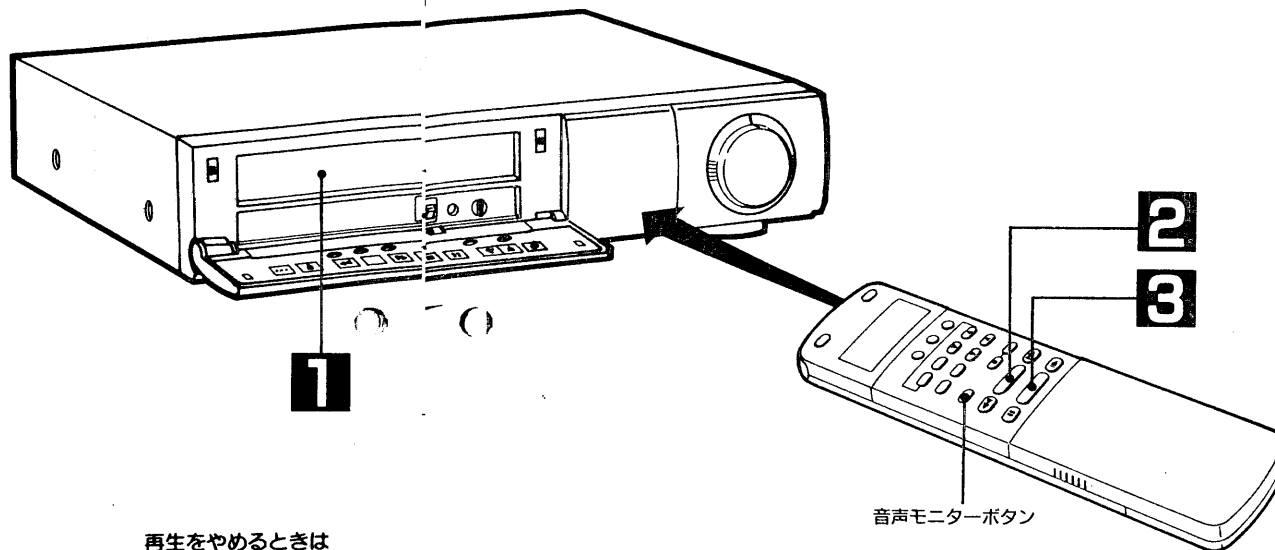
録画したテープを見る

テレビの準備

1. テレビの電源を入れる。
2. テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。

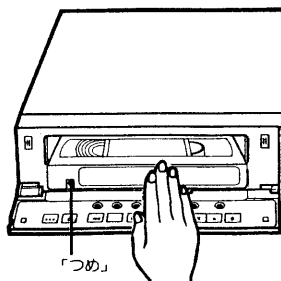


入力切換ボタン



再生をやめるときは

1 録画したテープを入れる



- 自動的に電源が入ります。

2 再生ボタンを押す



- 再生が始まります。
- 迫力あるサウンドを楽しみたいときは [36]。

3 停止ボタンを押す



- テープを最後まで再生すると、自動的に巻戻します。(オートリワインド)

こんなときは……

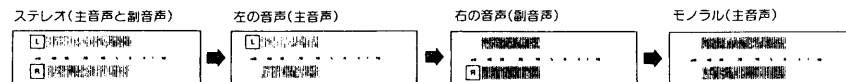
■音声多重放送を録画したテープを見るとき

- 音声モニターボタンで聞きたい音を選びます。

音声モニター



- ボタンを押すたびに、図のようにレベルメーターの表示と音が切り替わります。



- ビデオで選んだチャンネルを見ているときも、音声モニターボタンを押すと、上のように聞こえる音を選べます。

- 「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始めます。 [31]

- テープを早送りまたは巻戻したいときは、停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押します。

- テープを巻戻し中に電源を切るとテープを最初まで巻戻した後、自動的に電源が切れます。(オートリワインドシャットオフ) ただし、高速巻戻し中はこの機能は働きません。

録画・再生時こんなときは

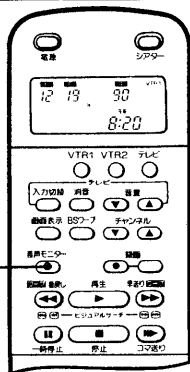
■二重音声放送を録画したいとき

- 特別な操作はいりません。ステレオ放送はステレオで二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(英語)が同時に記録されます。
- 録画中は音声モニターボタンで聞きたい音を選ぶことができます。(録音される音声には影響がありません。)

音声モニター

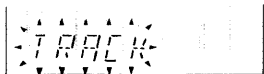


音声モニター
ボタン

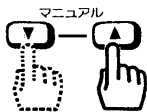


■再生したときの絵がおかしいとき (デジタルオートトラッキング機能)

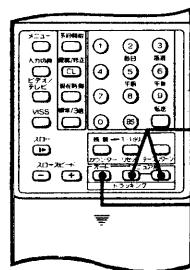
- テープの再生を始めると、オートトラッキング機能が働き、自動的に最も画面がきれいになるように調節します。このときビデオの表示窓に「TRACK」が数秒間点滅します。



- テープに傷がついていたり、あるいは録画状態の悪いテープはオートトラッキング機能が正常に働かないことがあります。この場合、トラッキングボタンを押し、最も画面がきれいになるように調節します。



- トラッキングボタンを押した後、オートトラッキングボタンを押すと、再びオートトラッキング機能が働きます。



トラッキング
ボタン

オートトラッキング
ボタン

いろいろな再生

(再生中に下記操作をするといろいろな再生ができます。いろいろな再生中は音は出ません。)

静止画再生(見たい画面を止めて見る)

一時停止ボタンを押す



- ボタンをもう一度押すか、または再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- 静止画再生を約5分間続けると、テープとヘッド保護のため自動的に停止します。

コマ送り再生(静止画面を1コマづつ見る)

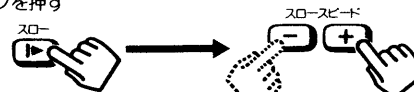
静止画再生にしたあと、コマ送りボタンを押す



- ボタンを押すたびに1コマづつ見ることができます。
- ボタンを押し続けると連続したコマ送り再生になります。

スロー再生(ゆっくりした速さで見る)

スローボタンを押す



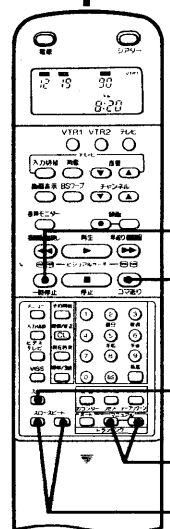
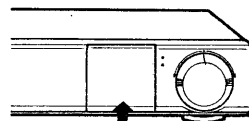
- スロースピードボタンで速度を調節できます。
- スロー再生を約5分間続けると、テープとヘッド保護のため自動的に停止します。
- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。

スキップ再生(不要な場면을飛ばして見る)

コマ送りボタンを押す



- 約30秒間分の画面を早送り再生したあと、再生に戻ります。
- 2回以上押したときは、最後に押したところから、約30秒間の画面を早送り再生したあと、再生に戻ります。



一時停止ボタン

コマ送りボタン

スローボタン

トラッキング
ボタン

スロースピード
ボタン

こんなときは……

■静止画再生/スロー再生の画面が上下にゆれるときは

- 静止画再生にして、トラッキングボタンを押して調節します。
- スロー再生の画面のゆれも抑えることができます。
- テレビによってはゆれを抑えることができないことがあります。

■静止画再生/コマ送り再生/スロー再生でノイズが出たときは

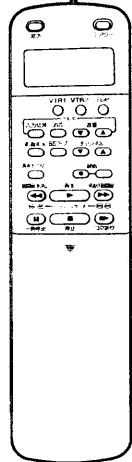
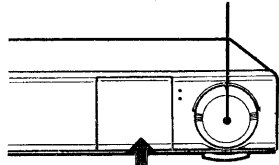
- スロー再生にして、トラッキングボタンで調節します。
- 静止画再生/コマ送り再生も自動的にノイズが少なくなります。

見たい画面のさがしかた(サーチ)

早送りボタンまたは巻戻しボタンを使う方法とシャトルサーチつまみを使う方法の2通りがあります。

早送りまたは巻戻しボタンを使ったサーチ

シャトルサーチつまみ



ビジュアルサーチ

1 再生中に巻戻しまたは早送りボタンを「ポン」と押す

または

2 見たい画面になったら再生ボタンを押す

高速サーチ

1 再生中に巻戻しまたは早送りボタンを押し続ける

または

2 見たい画面になったらボタンから指を離す

●テレビによっては瞬間的に画面が乱れることがあります。

ワープサーチ

1 早送りまたは巻戻し中に、もう一度早送りまたは巻戻しボタンを押し続ける

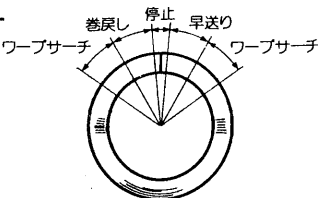
または

2 見たい画面になったらボタンから指を離した後、再生ボタンを押す

シャトルサーチつまみを使ったサーチ

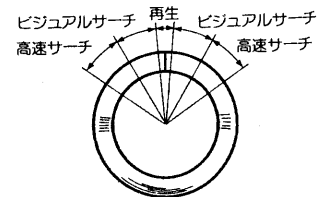
停止状態でつまみを回す

- 回す角度に応じて、停止、早送り(巻戻し)、ワープサーチができます。



再生または静止画再生中につまみを回す

- 回す角度に応じて、再生、ビジュアルサーチ、高速サーチ、ワープサーチができます。



- サーチ時のスピードは次のようになります。(再生時との比較)

録画モード	「SP」標準	「EP」3倍
サーチの種類		
ビジュアルサーチ	約5倍	約15倍
高速サーチ	約7倍	約21倍
ワープサーチ	約10倍	約30倍

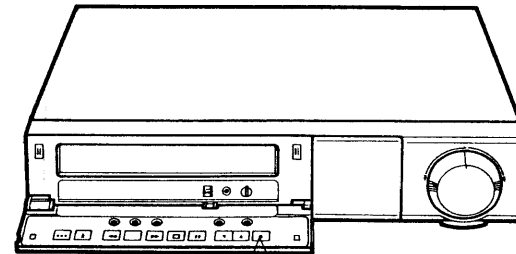
- サーチ中は音声は出ません。
- サーチの画面には数本のノイズが出ます。
- サーチ以外にリニアタイムカウンタやVISSを使って見たい画面をさがすこともできます。詳しくは[32]

クイックタイマー録画

本体のボタンで操作します。

あらかじめ決めた時間だけ録画したあと、自動的にビデオを止めておくことができます。

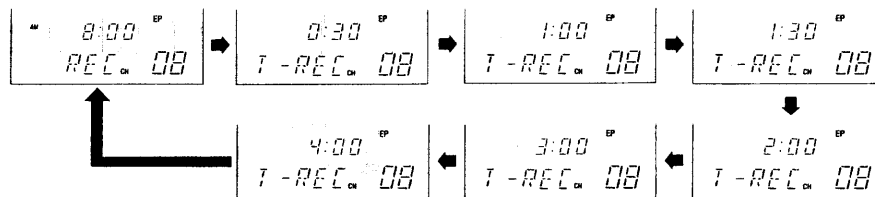
ご注意：ビデオの時計を合わせておかないと、クイックタイマー録画はできません。



録画を始めた後、もう一度録画ボタンを押す (リモコンの録画ボタンでは操作できません。)



- ボタンを押すたびに、図のように表示窓の録画時間が変わります。



- 表示された時間だけ録画された後、自動的に電源が切れます。
- クイックタイマー録画中は、ビデオの表示窓に、録画の残り時間が表示されます。
- クイックタイマー録画中に、録画ボタンを押すと録画時間を変更することができます。

- クイックタイマー録画中に録画をやめたいときは、電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押します。

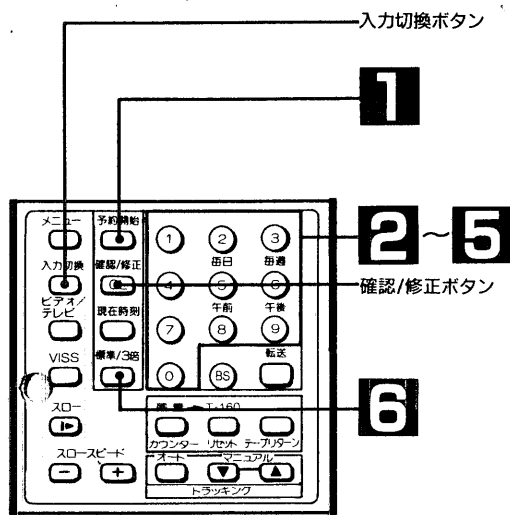
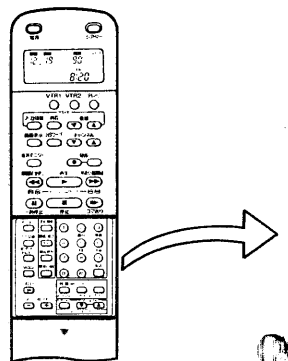
タイマー録画

- タイマーを合わせておくと、自動的にテレビ番組の録画ができます。
- 今日から一年先まで、全部で8つの番組を予約することができます。
- 毎日の連続ドラマや毎週一回の映画も予約できます。

たとえば
4チャンネルを
午後8時30分から午後10時54分まで
12月20日に録画したいとき
(1回録画)

ビデオの準備

- 「つめ」の折れていないテープを入れる。



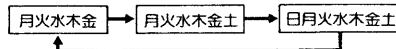
こんなときは……

■途中で間違えたとき

確認/修正ボタンを押して、点滅を間違えたところまで戻してから修正してください。

■毎日同じ時間の番組を予約するとき

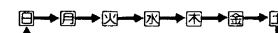
1の操作のあと 6 ボタンを押します。
●ボタンを押すたびに月～金、月～土、日～土の予約が選べます。



●このあと、5-6の操作をします。

■毎週同じ時間の番組を予約するとき

1の操作のあと 6 ボタンを押す。
●ボタンを押すたびに曜日が選べます。



●このあと、5-6の操作をします。

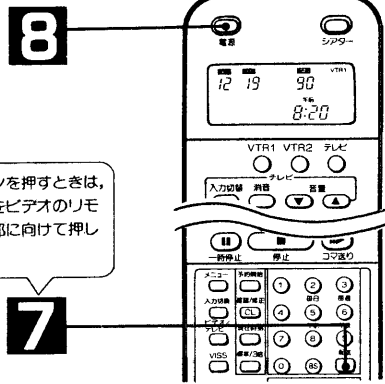
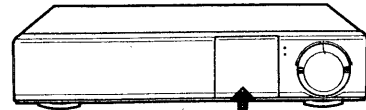
次ページへ続く

<h3>1 予約開始ボタンを押す</h3> <p>(リモコンの表示窓)</p>	<h3>2 録画したいチャンネルを合わせる</h3> <p>●ひとけたの数字を合わせるときは初めに 0 を押してください。</p>	<h3>3 開始時刻を合わせる</h3> <p>●午前は 0 を押します。 ●午後は 0 を押します。</p>	<h3>4 終了時刻を合わせる</h3> <p>●午前/午後は自動的に切り替わります。</p>	<h3>5 録画する日にちを合わせる</h3> <p>●曜日は自動的に表示されます。 ●録画する日が24時間以内のときは、自動的に合うので合わせる必要はありません。</p>	<h3>6 録画モードを合わせる</h3> <p>●ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。 「3倍」▶「標準」▶「オート」▶「表示は一度消える」</p>
---	---	---	---	--	--

●外部機器からタイマー録画するとき、入力切換ボタンで「L」を選びます。

●「オート」を選ぶとテープの残量に応じて録画モードが自動的に切り替わります。
●録画モードは 2-5 のときも合わせることができます。

タイマー録画(つづき)



転送ボタンを押すときは、リモコンをビデオのリモコン受光部に向けて押します。

電源を切り忘れると録画されません!

7 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



●ビデオに予約が転送され「PROG」が点滅します。

(ビデオの表示窓)



8 ビデオの電源を切る



●表示窓に「TIMER」が現われます。
●開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

(ビデオの表示窓)



これは便利

電源を切り忘れた場合でも、タイマー録画開始5分前になると、自動的にビデオの電源を切る機能があります。詳しくは **31**

こんなときは……

■録画モードで「オート」を選んだとき

- テープの残量に応じて自動的に録画モードが切り替わります。最初は「標準」で録画を始め、途中でテープがなくなりそうになると、録画モードを自動的に「3倍」に切換えます。
- 録画モードの切換わった部分を再生すると映像/音声が乱れます。

■予約した内容の確認や取消しをするとき

- 次ページをご覧ください。
- タイマー録画中に録画をやめたいとき
- 電源ボタンを押した後、10秒以内に停止ボタンを押します。

■停電があると

- 約30分以上停電すると「---:---」となり、時計と予約内容が消えてしまいます。もう一度時計と予約を合わせ直してください。

■テープが入っていないとき

- ビデオの表示窓の「TAPE」が点滅してお知らせします。「つめ」の折れていないテープを入れてください。

■予約内容が重なったとき

- 先に始まった番組が最後まで録画された後、もう一つの番組が途中から録画されます。

■ビデオに予約を転送したとき、「ERROR」や「FULL」が出たとき

- 「ERROR」: ●ビデオの時計が「---:---」になっています。時計を合わせてから転送します。
●リモコンをビデオに向けて転送していません。ビデオに向けて転送します。
- 「FULL」: ●すでに8つの番組が予約されており、予約はできません。

■タイマー録画予約したあと、ビデオをふつうに使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、ふつうに使えます。使い終わった後は必ずビデオの電源を切ってください。ビデオの電源を切り忘れるとタイマー録画できません。

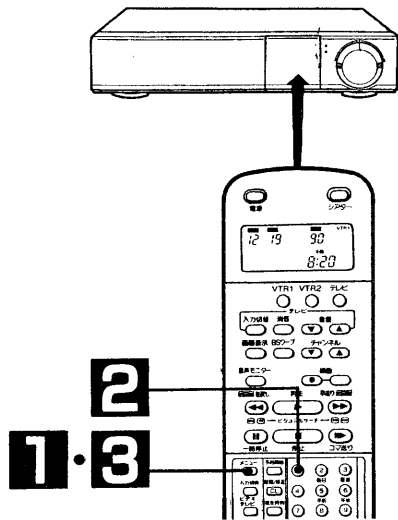
■タイマー録画中は

- 一時停止などのボタン操作はできません。


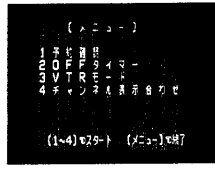

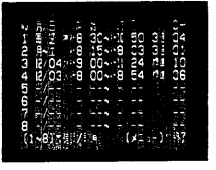


●「つめ」の折れたテープが入っていると、テープが出てきます。またこのとき表示窓に「TAPE」が現われ、点滅してお知らせします。「つめ」の折れていないテープを入れてください。

予約の確認と取り消し (テレビ画面を見ながら操作します。)

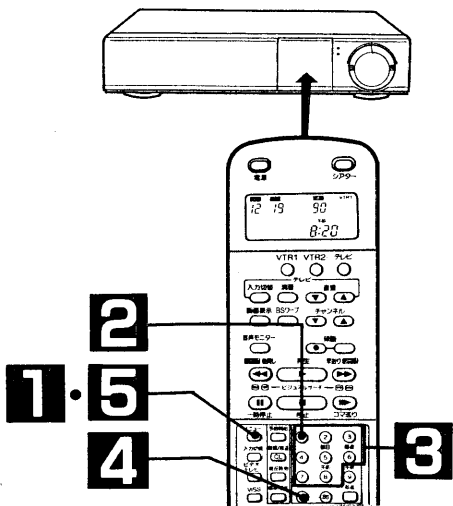
予約内容を確認するには



確認が終わったら






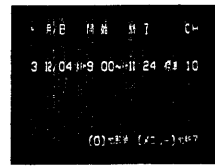

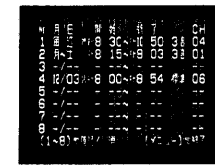

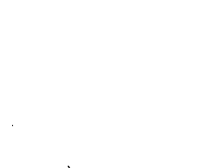
<p>1 メニューボタンを押す</p>  <p>(テレビ画面)</p> 	<p>2 ① を押す</p>  <p>• 予約内容が確認できます。</p> 	<p>3 もう一度メニューボタンを押す</p>  <p>• 元の画面に戻ります。</p> 
---	---	--

予約内容を取り消すには



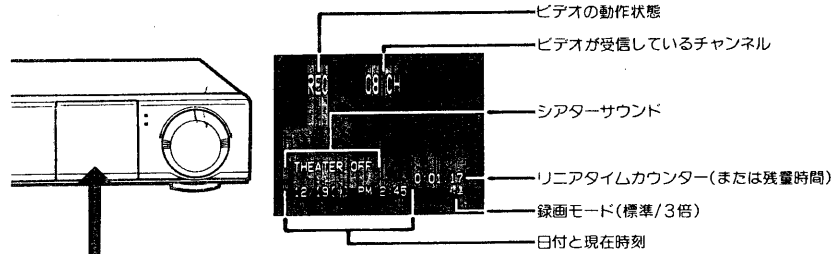
続けて別の予約を取り消すとき

取り消しが終わったら

<p>1 メニューボタンを押す</p>  <p>(テレビ画面)</p> 	<p>2 ① を押す</p>  <p>• 予約内容を表示します。</p> 	<p>3 取り消したい予約番号 ① ~ ⑧ を押す</p> <p>• ③ ならば予約番号3の内容を取り消すには</p>  	<p>4 ① を押して表示した予約を取り消す</p>  	<p>5 もう一度メニューボタンを押す</p>  <p>• 元の画面に戻ります。</p> 
--	--	--	---	---

• メニュー画面および予約内容を表示した画面は約1分たつと、自動的に元の画面に戻ります。

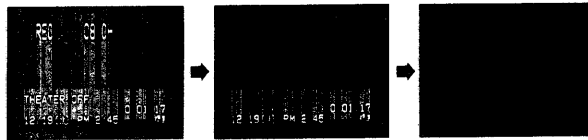
ビデオを操作すると、その都度テレビ画面に下図の表示が自動的に約5秒間出ます。



●画面表示ボタンまたは表示モード切換ボタンでも画面表示を切替えることができます。

■画面表示ボタンで画面表示を切替える

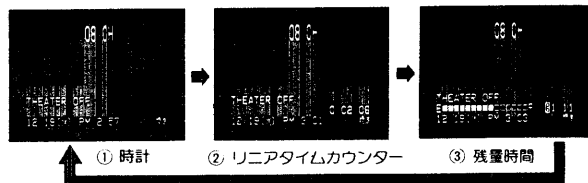
●ボタンを押すたびに、次のように表示が切替わります。



●③の状態を選ぶとビデオを操作しても何も表示が出ません。テープ編集時、本機を再生側ビデオに使うとき便利です。……モード表示 OFF

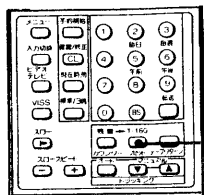
■表示モード切換ボタンで画面表示を切替える

●ボタンを押すたびに、次のように切替わります。



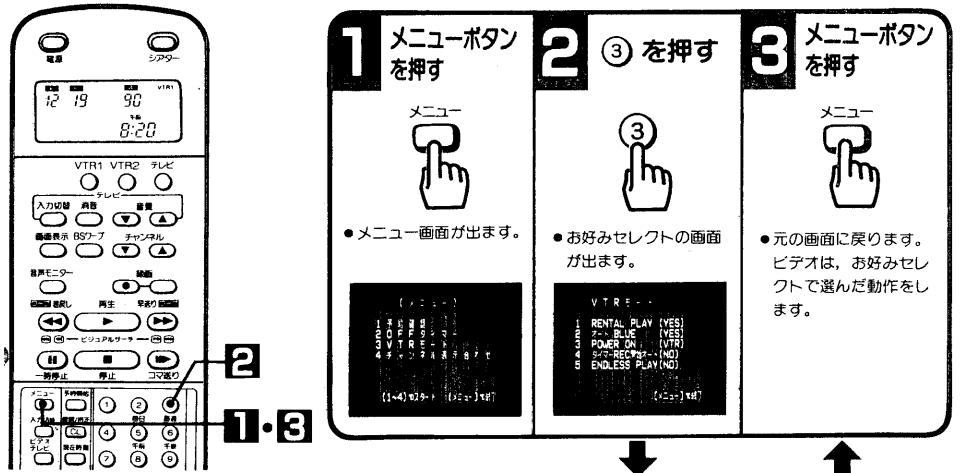
●ビデオの表示窓も一緒に切替わります。

■テープ残量時間表示について



- 残量時間は録画または再生を始める約30秒後に表示されます。
- 上の③の例では録画モードが「標準」で、テープの残量時間は1時間11分です。
- T-160やT-140テープを使うときは、残量時間表示のときリセット/T-160ボタンを押して、ビデオの表示窓に「T-160」を表示させてください。
- T-30/60/90/120/140/160テープは、残量時間を正しく表示しますが、これら以外のテープは、テープの構造の違いにより正しく表示しないことがあります。

ビデオの動作機能をお好みに合わせて選ぶことができます。



1. RENTAL PLAY (YES)または(NO)

- ①を押して切替えます。
(YES) : 「つめ」の折れているテープを入れると自動的に再生を始めます。また何も録画していない部分が1分間以上続くとき自動的にテープが最初まで巻戻されたあと、テープが出てきます。
(NO) : 上の機能は働きません。
●音声だけを記録したテープを再生するときは、(NO)を選んでください。

2. オートBLUE (YES) または (NO)

- ②を押して切替えます。
(YES) : ビデオのチャンネルボタンでテレビ放送のない空きチャンネルを選んだときや、音声のみを記録したテープを再生すると、画面がブルーになります。
●電波の強い地域での空きチャンネルや未録画テープまたは録画状態の悪いテープを再生したときは、この機能が働かないことがあります。
●放送が終了したチャンネルや、放送のないチャンネルでは画面はブルーになりますが、音はミュートされません。
(NO) : 上の機能は働きません。

3. POWER ON (VTR) または (TV)

- ③を押して切替えます。
(VTR) : ビデオの電源を入れたとき、ビデオ/テレビ切換ボタンを「ビデオ」にします。
(TV) : ビデオの電源を入れたとき、ビデオ/テレビ切換ボタンを「テレビ」にします。

4. タイマーREC開始オート(YES)または(NO)

- ④を押して切替えます。
(YES) : タイマー録画の開始5分前に、ビデオの電源が「入」になっていると、自動的にビデオの電源を切ります。
(ビデオが停止状態のとき)



(NO) : 上の機能は働きません。

5. ENDLESS PLAY (YES) または (NO)

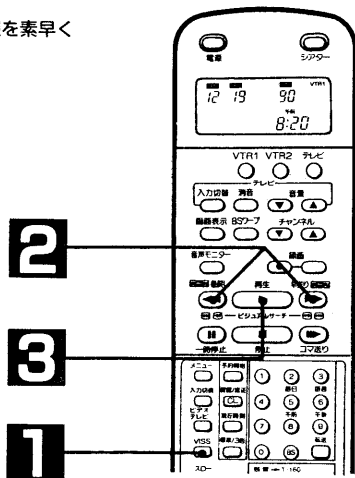
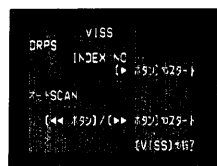
- ⑤を押して切替えます。
(YES) : 再生が終わったら自動的にテープの巻き始めまで巻戻した後、再び再生を始めます。停止ボタンを押さないかぎり動作し続けます。
(NO) : 上の機能は働きません。

お好みセレクト
画面表示

VISSのオートスキャナプレイ機能 （見たい番組がテープの何番目に録画してあるか分からないとき、さがすのに便利です。）

本機では録画を始めるたびに VISS信号が自動的に番組の頭の部分に記録されます。
この VISS信号を検知して見たい番組を素早くさがすことができます。

VISSボタンを押すと、テレビ画面にVISSモードメニューが現われます。



<p>1 停止状態でVISSボタンを押す</p> <p>●表示窓に「VISS」が表示されます。</p>	<p>2 早送りまたは、巻戻しボタンを押す</p> <p>●番組の頭(VISS信号の部分)まで早送りまたは巻戻された後、自動的に15秒間再生をくり返します。</p>	<p>3 見たい番組が現われたら再生ボタンを押す</p> <p>●再生になります。</p>
--	---	--

VISS信号は

録画ボタンを押すと、自動的に記録されますが、録画一時停止から録画に戻しても記録されません。
ただし音声だけ録音するときは、録画一時停止から録画に戻したときでも記録されます。

VISS信号を検知しないとき

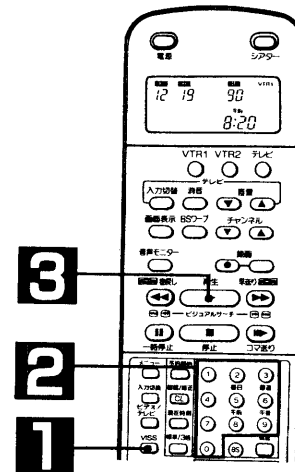
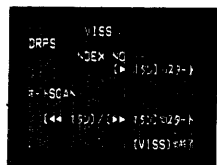
次のような場合、オートスキャナプレイとDRPS機能を実行したときVISS信号を検知しないことがあります。

- テープの巻始めから録画を始めたとき。
- 他のビデオで録画したテープにVISS信号を書き込んだとき。
- 録画時にテープスピードを切替えた部分にVISS信号を書き込んだとき。
- 録画してある時間が10分以内の番組。
- VISS信号が記録されている付近で巻戻し(または早送り)ボタンを押したとき。

VISSのDRPS(Direct Play Scanner)機能 （見たい番組がテープの何番目に録画してあるか分かっているとき、さがすのに便利です。）

オートスキャナプレイと同じく VISS信号を検知して番組の頭をさがします。オートスキャナプレイと操作および動作が少し違います。

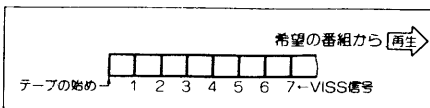
VISSボタンを押すと、テレビ画面にVISSモードメニューが現われます。



<p>1 停止状態でVISSボタンを押す</p> <p>●表示窓に「VISS」が表示されます。</p>	<p>2 ①～⑨のボタンで見たい番組を選ぶ</p> <p>●見たい番組が7番目のときは⑩⑦と押す。</p>	<p>3 再生ボタンを押す</p> <p>●テープは一度、始めまで巻戻されたあと、早送りされます。 ●希望の番組で自動的に再生します。</p>
--	--	--

DRPS機能について

●テープの始めからの番号で指定した番組を再生します。



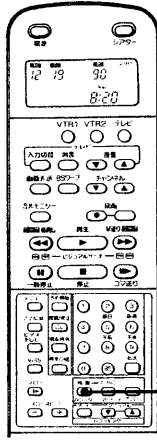
DRPS操作時のVISS信号について

●一度 DRPS 操作するとカセットをビデオから取り出さず再生している番組がテープの最初から何番目に録画されているかを記憶しています。従って次に DRPS をするときには直接選んだ番組まで早送りまたは巻戻した後、再生になります。

リニアタイムカウンターを使うとテープリターン機能で見たい画面を簡単にさがすことができます。

■リニアタイムカウンターについて

テープを入れてテープが走行すると「0:00.00」からスタートし、経過時間を「時・分・秒」で表示します。

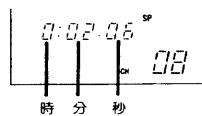


表示モード
切換ボタン

■リニアタイムカウンターを選ぶには表示モード切換ボタンを押します。③

- ビデオの表示窓とテレビ画面の両方にリニアタイムカウンターは表示されます。

(ビデオの表示窓)

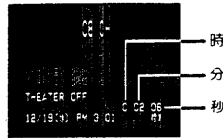


時 分 秒

- 高速巻戻し中やテープを取り出したときは、自動的に「0:00.00」にリセットされます。

ご注意：リニアタイムカウンターはテープに何も録画されていないときは動作しません。

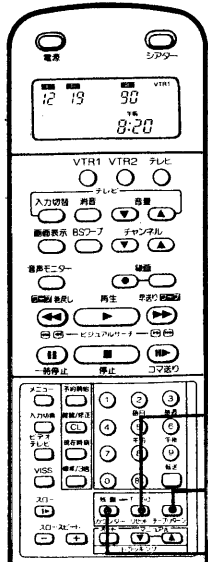
(テレビ画面)



時
分
秒

テープリターン機能

リニアタイムカウンターを「0:00.00」に合わせた位置の頭出しができます。



1
2

表示モード
切換ボタン

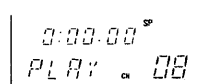
1 録画または再生中に、もう一度見たい場面ではリセットボタンを押す



リセット

- リニアタイムカウンターが表示されていないときは、表示モード切換ボタンを押してリニアタイムカウンター表示を選びます。

(ビデオの表示窓)



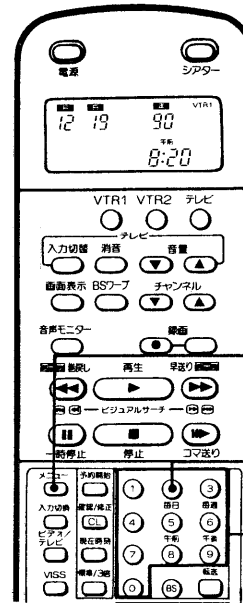
2 録画や再生が終わったら、停止ボタンを押した後、テープリターンボタンを押す



テープリターン

- ビデオの表示窓に「REW」または「FF」が表示され、「0:00.00」の位置まで自動的に巻戻し(早送り)されます。

ビデオの電源を自動的に切ることができます。今から最大99分以内の時刻を合わせておくと自動的に合わせた時刻になると電源が切れます。録画しているときなどに便利です。



1・4

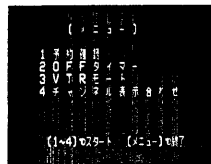
2

3

1 メニューボタンを押す



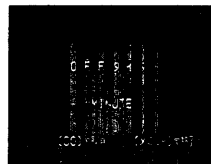
- メニュー画面が現われます。



2 ②を押す



- OFFタイマーが表示されます。



3 ⑤~⑨のボタンで合わせる

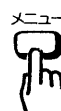
例えば、50分後にビデオの電源を切りたいときは、



- 取り消したいときは ⑤ ① と押します。

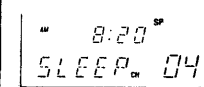


4 メニューボタンを押す



- ビデオの表示窓に「SLEEP」が表示され、50分後にビデオの電源が切れます。

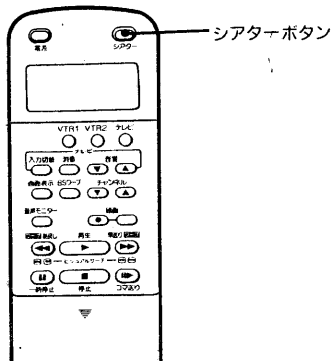
(ビデオの表示窓)



オフタイマー
便利な画面のさがしかた(つづき)

■シアターボタン

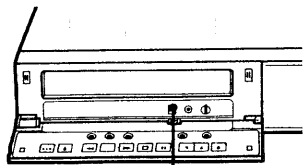
ソフトテープ(特に映画など)を再生するときや、テレビ番組を見ているとき、低音を強調し迫力あるサウンドが楽しめます。



- ボタンを押すたびに「THEATER OFF」→「MUSIC」→「THEATER」が順番に表示されます。
THEATER：ソフトテープ(特に映画など)を再生するとき、低音が強調され、迫力あるサウンドが楽しめます。
- MUSIC：テレビの音楽番組などを見るとき、効果的です。「THEATER」に比べて、低音の強調が少し小さくなります。
- THEATER OFF：シアターサウンドを選ばないとき。
- 音声モニターボタンでノーマル音声を選んだときは、低音は強調されません。
- 音を大きくしたり、ソフトテープの音楽によっては音が歪むことがあります。このような時は「THEATER OFF」にしてください。

■レンタルスイッチ

テープ再生時の画像を調節するスイッチです。お好みに合わせ、次のように調節します。



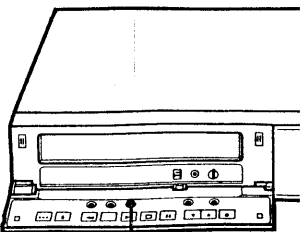
レンタルスイッチ



- レンタルテープなど、くり返し何度も再生したテープは画面がざらついた感じになります。この位置にすると、ノイズが少なくなり見やすくなります。
- 通常はこの位置にします。

■テープリフレッシャーボタン (テープをリフレッシュします。)

同じテープに何回も録画を繰り返すと前の録画の消し残りがあつたりします。また、前の録画を全部消してから録画する場合、ある程度時間がかりました。テープリフレッシャーボタンを使うと約7倍の速さで消去できます。(T-120テープの場合、約17分で全部消去できます。)



テープリフレッシャーボタン

- ① 停止状態でテープリフレッシャーボタンを押す。
 - 「つめ」が折れたテープはリフレッシュできません。「穴」にゼロハンテープを貼ってください。
- ② 録画ボタンを押す。
 - リフレッシュが始まります。ビデオの表示窓に「FRESH」が現われます。
- ③ テープの終わりまでリフレッシュされると自動的に最初まで巻戻されます。
 - 途中でリフレッシュをやめるときは停止ボタンを押す。

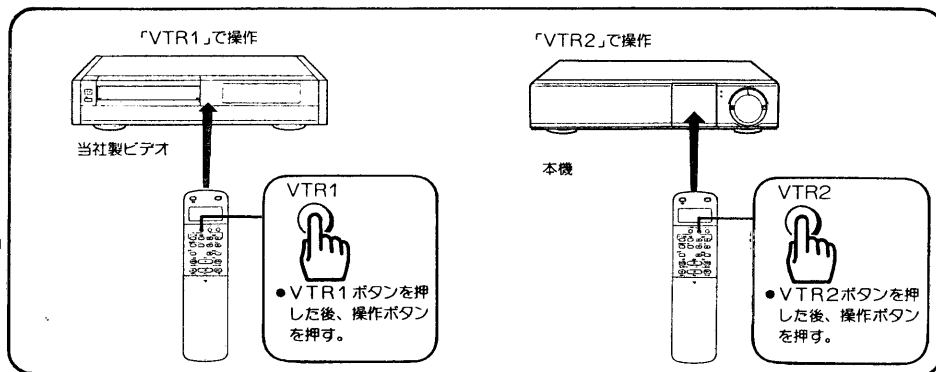


テープリフレッシャーボタンを押すと、テレビ画面に表示がされます。

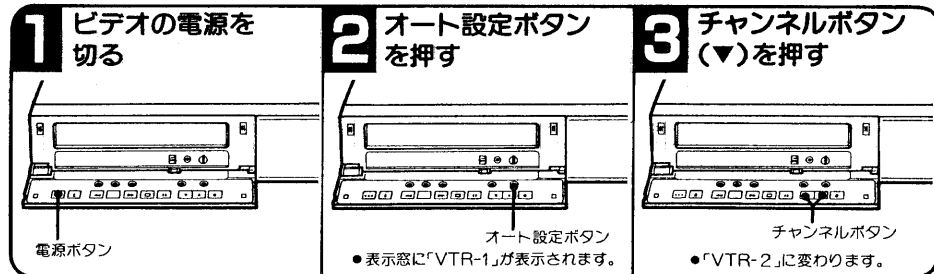
ご注意：テープリフレッシュの始まり部分の数秒間は消去されません。

リモコンで2台のビデオを操作するには

付属のリモコンは本機以外の当社製ビデオの操作もできます。リモコン切換ボタン(VTR2ボタン)を押すと、2台のビデオを別々に操作することができます。(当社製ビデオは通常「VTR1」でリモコンを受信できるようになっております。)



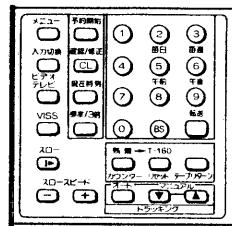
■本機のリモコンコードを「VTR2」に切替えるには (本体で操作します。)



- リモコンコードを「VTR1」に戻すには、③の操作のときチャンネルボタン(▲)を押します。
- 当社製ビデオVT-6800/VT-9700/VT-17以外のワイヤレスリモコン対応のビデオの操作ができます。ただし、リモコンでのタイマー予約のできない機種があります。

■チャイルドロック

一時的に本体での操作ができないようにします。お子様のイタズラ防止に便利です。(リモコンでのみ操作できます)



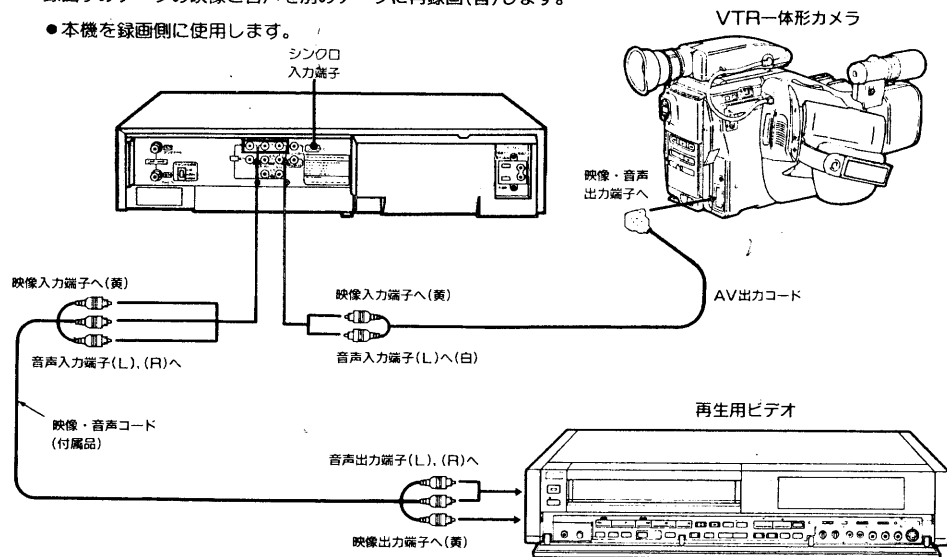
- リモコンが現在時刻を表示しているときに、**GL**と**ON/OFF**を同時に押します
- これで本体での操作ができなくなります。本体の操作ボタンを押すとビデオの表示窓に「LOCK」が表示されてお知らせします。

- チャイルドロックの解除方法
リモコンの電源ボタンを押すか、または**GL**と**ON/OFF**を同時に押すとチャイルドロックは解除されます。再びロックするときには、もう一度**GL**と**ON/OFF**を同時に押します。

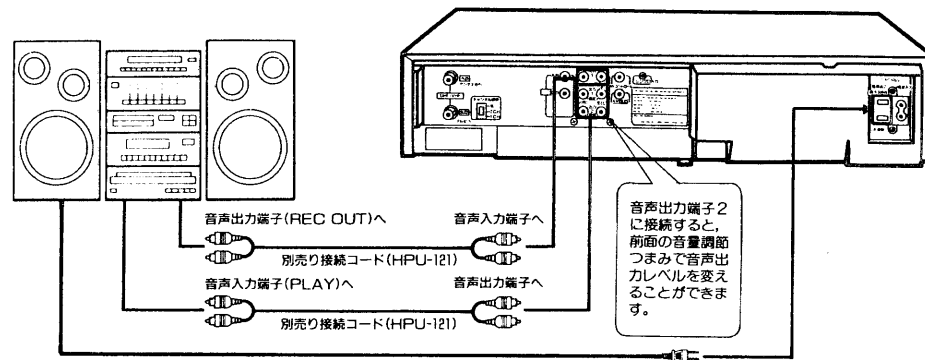
テープのダビング (VTR一体形カメラまたは他のビデオからダビングするとき)

録画済みテープの映像と音声も別のテープに再録画(音)します。

- 本機を録画側に使用します。



オーディオ録音するには



準備

- オーディオ機器と本機を図のように接続する。
- オーディオ機器の音出しをする。

ご注意

本機の補助電源コンセントは最大300Wです。300W以上の機器は接続しないでください。

準備

- VTR一体形カメラまたはもう1台のビデオを図のように接続する。
- リモコンの入力切換ボタンで「L」(外部入力)を選ぶ。
- 本機の録画モードは「SP」にしてください。「EP」で録画すると画質が劣化します。
- テレビを録画用ビデオに接続すると、編集のとき画像を確認できます。

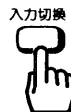
1 VTR一体形カメラまたは再生用ビデオで再生を始める



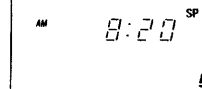
2 録画側ビデオの録画ボタンを押す



1 入力切換ボタンを押して「L」(外部入力)を選ぶ



(ビデオの表示窓)



2 録画ボタンを押す



- 録音が始まります。Hi-Fiサウンドとノーマルサウンドの両方で録音されます。
- 再生するときは、音声モニターボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます。

2台の当社製ビデオを使用する時

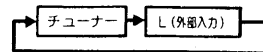
- 本機のリモコンで2台とも操作することができます。[37]

入力端子について

- 入力端子を使うときは「L」(外部入力)を選びます。
- 音声入力端子は(L/モノ)です。プラグを片側しか接続しないときは、(L)に接続してください。

入力切換について

- 入力切換ボタンを押すと、ボタンを押すたびに次の順序で入力が切り替わります。



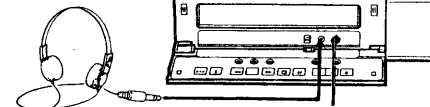
シンクロ入力端子について

シンクロ入力端子にリモートポーズプラグ付きのAV出力コードを接続すると、VTR一体形カメラの操作で録画側ビデオの録画スタート/ストップができます。

ヘッドホンで楽しむには

ヘッドホン(市販品)を接続し、ヘッドホン音量つまみで音量を調節します。

- 音量つまみを回すと音声出力端子2からの音量も自動的に変わります。

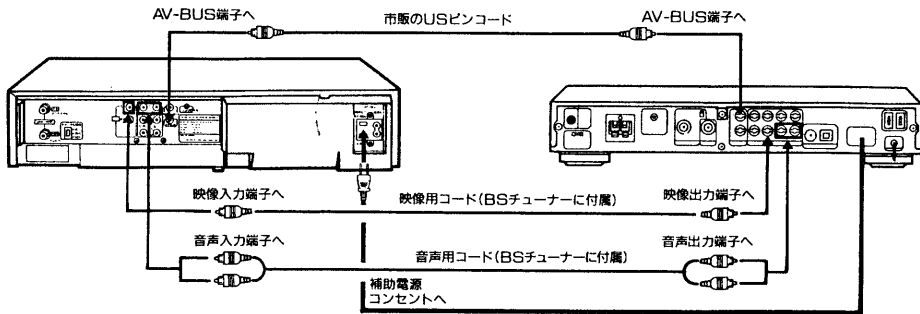


ヘッドホン音量つまみ

衛星放送の録画

当社製AV-BUS端子付BSチューナーやBSチューナー内蔵テレビを接続すると、本機の操作でBSチューナーやテレビを自動的にコントロールできます。BS放送の録画も簡単にできます。

●接続するときは、本機の電源コードをコンセントから抜いてから接続してください。



例：衛星放送15チャンネルを録画するとき

1 ビデオのリモコンでBSチャンネルを選ぶ

●この例の場合(BS) ① ⑤の順番に押す

- BSチューナーまたはテレビの電源が自動的に入りBS15チャンネルが選局されます。
- ビデオの表示窓にもBS15チャンネルが表示されます。
- BSワープボタンを押したあと、チャンネルボタンでも簡単にBS放送を選局できます。

2 録画ボタンを押す

- 録画が始まります。
- 録画中はBSチューナーまたはテレビのボタン操作はできません。
- 二重音声放送のときは、主音声を左チャンネルに副音声を右チャンネルに録音します。

AV-BUS端子を接続してBS放送を録画するとき

- ビデオの電源を入れ、BS放送を選ぶとBSチューナーまたはテレビの電源も入ります。
- ビデオの電源を切ると、BSチューナーまたはテレビの電源も切れます。
- ビデオのチャンネルを切換えて、BS放送以外を選ぶとBSチューナーまたはテレビの電源が切れます。
- ビデオのリモコンの音声モニターボタンを押すと、BS放送の音声を切換えることができます。

AV-BUS端子のついていないBSチューナーまたはテレビと接続してBS放送を録画するとき

- この場合、ビデオの操作でBSチューナーまたはテレビの操作をすることはできません。BSチューナーまたはテレビ側でBS放送を選んだ後、ビデオの入力切換ボタンで「L」(外部入力)を選び、録画してください。

ご自分でビデオを設置するには

この章は、ご自分でビデオを設置されるときにお読みください。初めてビデオをお使いになるかたには、少し難しく感じられることがありますのでそのときは、販売店にご相談ください。

- **アンテナ線の接続** [42]
(テレビ番組を録画するために必要です。)

- **映像・音声コード電源コードの接続** [45]

- **ビデオ専用チャンネルの設定** [46]
● AVコントロール端子とAV-BUS端子について [47]
(当社の対応テレビと組み合わせるときご覧ください)

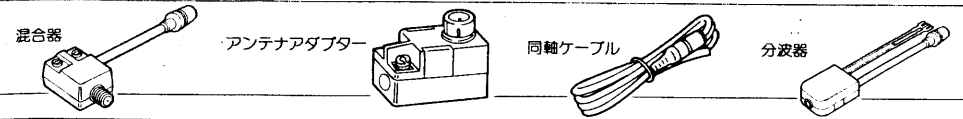
- **受信チャンネルの合わせかた**
● 受信チャンネルを合わせるには [48]
(放送されているチャンネルだけを自動的に設定します。)

こんなときは

- 放送のないチャンネルを飛びこすには [49]
- 微調節のしかた [50]
- チャンネル表示の数字をテレビ番組の数字に合わせるには [50]

アンテナ線の接続

ここで使用する
付属品



1 テレビからアンテナ線を取りはずす

2 取りはずしたアンテナ線をビデオに接続する

3 付属の同軸ケーブルでビデオとテレビを接続する

アンテナ線の種類について

お手持ちのテレビやお住いの地域によってアンテナ線の種類やテレビとの接続方法は次のように違います。どのような場合もまずアンテナ線はすべてテレビから取りはずします。

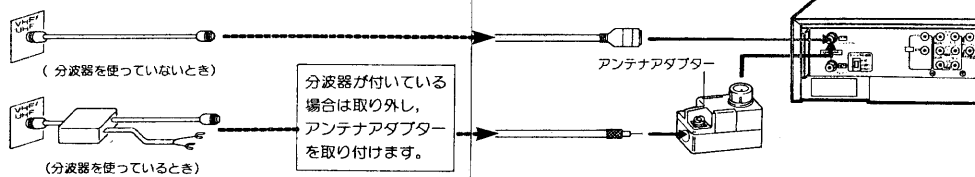
■アンテナ線の種類により、付属のアンテナアダプターや混合器が必要です。

■テレビのアンテナ端子の種類により付属のアンテナアダプターや分波器が必要です。

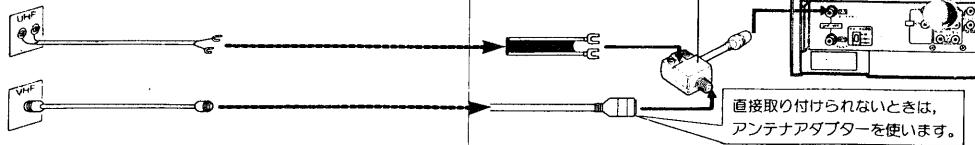
- 同軸ケーブルをアンテナアダプターまたは、分波器に取り付けるには加工が必要です。詳しくは [44]

■テレビのVHFアンテナ端子の種類により、分波器の先端の加工が必要です。(詳しくは [44])

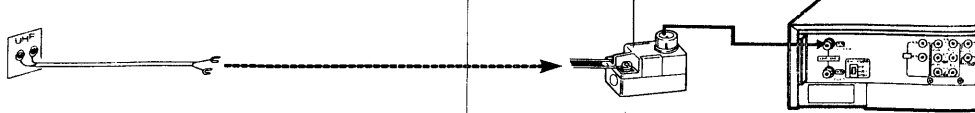
●UHFとVHFアンテナ線が混合されている場合



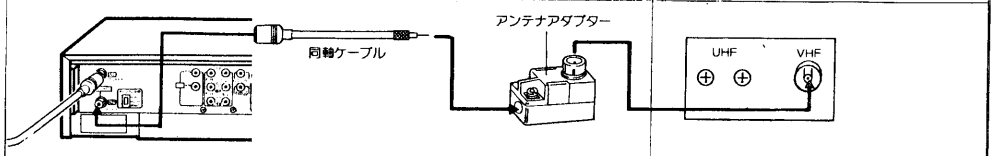
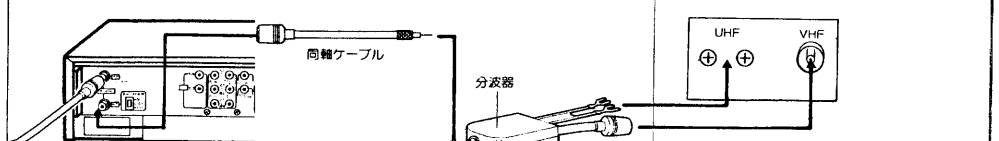
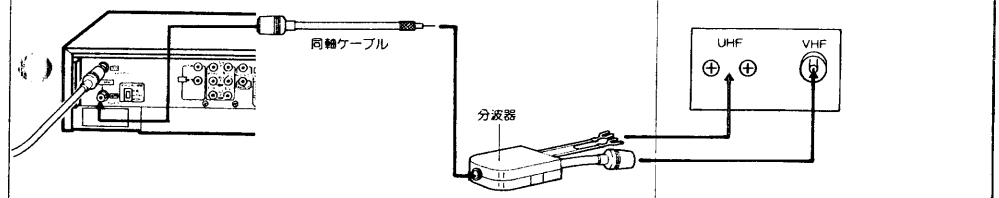
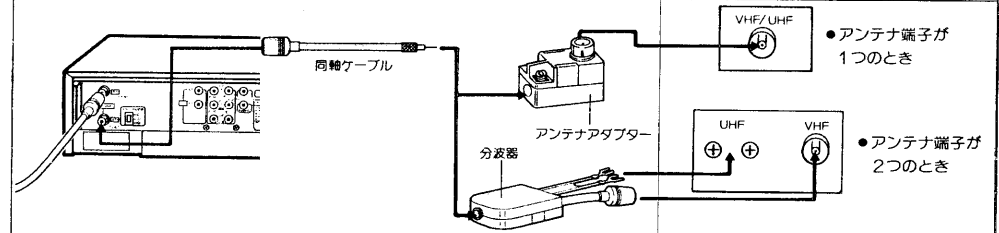
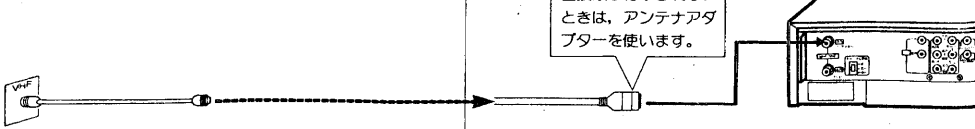
●UHFとVHFアンテナ線の両方が接続されている場合



●UHFアンテナ線だけの場合



●VHFアンテナ線だけの場合



自分でビデオを設置するには



アンテナ線の接続

アンテナ線の接続(つづき)

アンテナアダプターにフィーダー線を取り付けるには

1 先端を加工する
約10mm
金具がついている場合は加工する必要はありません。

2 ねじをゆるめ、リード線をねじに巻きつけしっかりとしめる。

アンテナアダプターに同軸ケーブルを取り付けるには

1 先端を加工する
約10mm 4 8
芯線
金属の網線(折り返す) 白いビニール

2 指でつめを開きながら「ふた」をはずす。

3 接続線を端子からはずし、プラスチックにはさむ

4 同軸ケーブルを差し込みしっかりと取り付ける
ペンチでしめる
芯線をはさみこみ、他に接触しないように巻きつける

5 「ふた」をする

電波の弱い地域では

ブースター(別売品)を使用するとノイズが少なくなります。 [56]

分波器に同軸ケーブルを取り付けるには

1 指でつめを押し広げながら「ふた」をはずす

2 同軸ケーブルを差し込みしっかりと取り付ける
●芯線をはさみ込んだ後、網線の部分をペンチでしめる

3 ふたをする。

テレビのVHFアンテナ端子に分波器が直接取り付けられないとき

●VHFアンテナ端子が下図のときは、分波器の先端を加工します。

分波器の先端を加工します。

① 先端のプラグを切断する。

② 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る。

③ 金属の網線を折り返す。

④ 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る。

映像・音声コードの接続 電源コード

ここで使用する
付属品



前ページのアンテナ線を接続した後、下記接続をすると、よりよい画質・音質でお楽しみいただけます。

●接続するときは、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

映像入力 (黄)

音声左 (赤)

音声右 (白)

電源コンセント

テレビと映像・音声コードで接続したときは、ビデオチャンネル切換スイッチを「切」にしてください。

音声出力端子は次の2つあります。
出力1：常に一定のレベルで出力されます。
出力2：出力を可変できます。 [39]

電源コードはビデオに接続したあと、コンセントに接続します。

自分でビデオを設置するには

アンテナ線の接続(つづき)

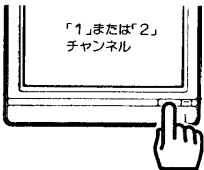
ビデオ専用チャンネルの設定

テレビに映像・音声入力端子が付いていないと、前ページの接続はできません。
この場合は、ビデオ専用チャンネルの設定を行い、ビデオを見るときは、テレビをこのビデオ専用チャンネルに合わせます。

正しく設定できたが確認するには

1

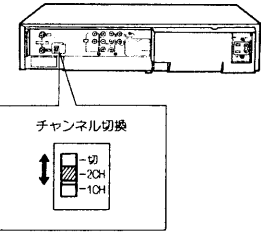
テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル（1または2）を選ぶ



- ビデオで選んだ番組を見たり、ビデオテープを再生するときは、テレビのチャンネルをいつも、このチャンネルに合わせます。（ビデオ専用チャンネル）

2


ビデオのチャンネル切換スイッチをテレビで選んだチャンネルに合わせる



- これでビデオで選んだ番組がテレビに出ます。

3

ビデオのチャンネルボタンでチャンネルを切換える



- 選んだ番組がテレビに映ります。
- 画像がきれいに映らないときは、**[42] ~ [43]**の接続をもう一度確認してください。それでもきれいに映らないときは、下欄をご覧ください。

- 接続が正しいのにきれいに映らないとき……
テレビの1または2チャンネルの調整がずれています。ビデオのチャンネルボタンで選んだ番組がきれいに映るようにテレビを調節します。（録画してあるテープがある場合は、テープを再生しながらテレビがきれいに映るように調節します。）
- テレビの調節方法は、テレビの取扱説明書をご覧ください。

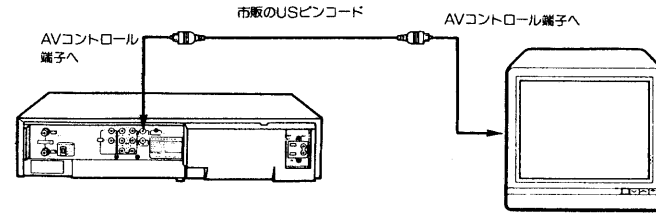
音声多重放送をお楽しみになるには

- 映像・音声コードでテレビと接続できないときは音声多重対応テレビまたはステレオアンプと接続してください。
- ビデオで選んだ放送や、テープ再生時にアンテナ出力端子から出力される音声はモノラル（音声モニターボタンで選んだ音声になります。）

AVコントロール端子とAV-BUS端子について

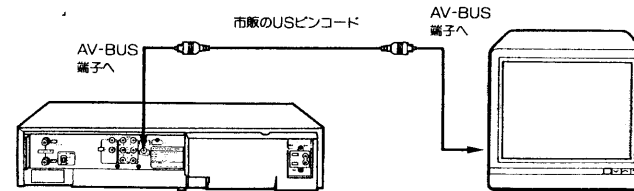
接続するテレビが当社製で、AVコントロール端子または、AV-BUS端子がついているときは、次の接続をすると、ビデオの操作でテレビをコントロールできます。

AVコントロール端子と接続したとき



- ビデオの操作で、テレビの入力切換を次のように操作できます。
 - ビデオの電源を入れると（お好みセレクトでPOWER ON (VTR)を選んでるとき**[31]**）
 - 再生を始めると
 - ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶと
- ⇒ テレビの入力切換は自動的に「ビデオ」になります。
- ビデオの電源を切ると
 - ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶと
- ⇒ テレビの入力切換は自動的に「テレビ」になります。

AV-BUS端子を接続したとき



- ビデオの操作で、テレビの電源の「入/切」および入力切換を次のように操作できます。
 - ビデオの電源を入れると（お好みセレクトでPOWER ON (VTR)を選んでるとき**[31]**）
 - 再生を始めると
 - ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶと
- ⇒ テレビの電源が自動的に「入」になり、入力切換が「ビデオ」になります。
- ビデオの電源を切ると
 - ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶと
 - ビデオのオフタイマーを合わせると
- ⇒ テレビの入力切換は自動的に「テレビ」になります。ただし、電源は切れません。
- ⇒ テレビも合わせた時刻になると自動的に電源が切れます。

ご注意!

- 本機のAV-BUS端子を接続して使うときは、テレビの電源を「入」または「スタンバイ」でご使用ください。
- テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- AVコントロールまたはAV-BUS端子を接続したときは、テレビをビデオ専用チャンネル（1または2）にしてビデオの再生などを見ることはできません。テレビの入力切換を「ビデオ」にしてください。またビデオチャンネル切換スイッチは必ず「切」でご使用ください。
- 録画するときは、テレビに映っている画像がビデオで選んだ番組かどうか、確認してから録画してください。

受信チャンネルの合わせかた

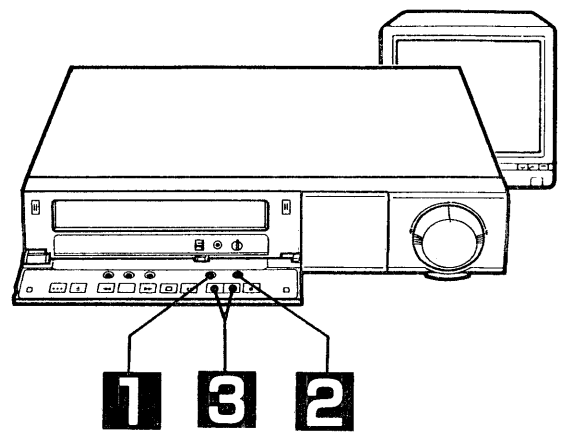
受信チャンネルを合わせるには

お住いの地域により、受信できるチャンネルは違います。(例えば東京と大阪、あるいは北海道と九州では受信できるチャンネルが違います。)そのため、お住いの地域に合わせた受信チャンネルの合わせが必要です。最初に42~45ページの要領でアンテナ線とテレビをビデオに接続した後、次の操作をします。

準備

1. ビデオの電源を入れる。
2. テレビの電源を入れ、テレビの入力切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ。

●映像・音声コードを接続していないときは、ビデオ専用チャンネル(1または2チャンネル)にする。



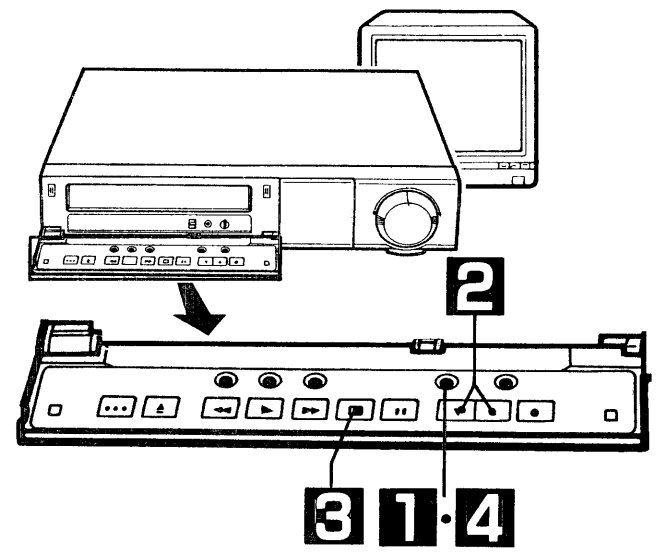
終わったら

<p>1 チャンネル設定ボタンを押す</p> <p>チャンネル設定</p> <p>(ビデオの表示窓)</p>	<p>2 オート設定ボタンを押す</p> <p>オート設定</p> <p>●受信しているチャンネルを自動的に記憶していきます。(設定には約1分かかります。)</p> <p>●記憶が終わると、一番数字の小さいチャンネルがビデオの表示窓に現れます。</p>	<p>3 チャンネルボタンを押して確認する</p> <p>チャンネル</p> <p>●選んだチャンネルの画面がテレビに映ります。</p> <p>●画像がきれいに映らないときは、[42]~[45]の接続をもう一度確認してください。</p>
---	---	---

- 電波状態によっては放送のないチャンネルも設定されることがあります。このときはチャンネルを飛びこしてください。[49]
- チャンネルの数字がテレビ番組表の数字と合わないときは、[50]をご覧ください。
- 工場出荷時はVHF放送の1~12チャンネルが受信できるように調整してあります。

放送のないチャンネルを飛びこすには

チャンネル設定をすると、電波状態によっては放送のないチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛びこしたいときは、次の操作をします。



終わったら

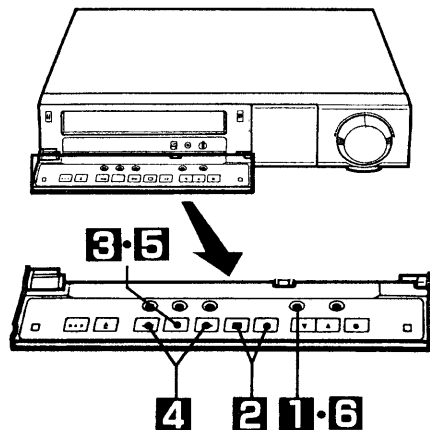
<p>1 チャンネル設定ボタンを押す</p> <p>チャンネル設定</p> <p>(ビデオの表示窓)</p>	<p>2 飛びこしたいチャンネルを選ぶ</p> <p>チャンネル</p> <p>08 CH TUNE 08</p>	<p>3 停止ボタンを押す</p> <p>停止</p> <p>音声が消え、選んだチャンネルの飛びこしができました。</p> <p>ほかのチャンネルも飛びこしたいときは</p>	<p>4 チャンネル設定ボタンを押す</p> <p>チャンネル設定</p>
---	--	--	--

- 飛びこしたチャンネルを元に戻すときは、手順③のとき再生ボタンを押してください。
- 飛びこしたチャンネルはチャンネルボタン(▼または▲)では選べませんが、リモコンの⑩~⑨のボタンで選ぶことができます。

受信チャンネルの合わせかた (つづき)

微調節のしかた

受信した放送は自動的に最適な受信ができるようになって
います。しかし、電波が弱かったり、妨害が入るチャン
ネルでは微調節をしたほうが映りがよくなることありま
す。

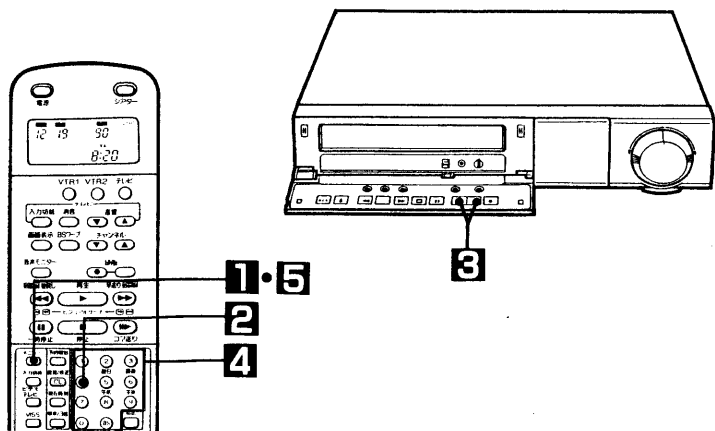


<p>1 チャンネル設定 ボタンを押す</p> <p>チャンネル設定</p> <p>(ビデオの表示窓)</p>	<p>2 映りの悪い チャンネルを選ぶ</p> <p>チャンネル</p>	<p>3 再生ボタン を押す</p> <p>再生</p> <p>●「CH」が点滅します。</p>	<p>4 巻戻しまたは早送り ボタンで調節する</p> <p>巻戻し 早送り</p> <p>●画像が最もよくうつるよう に調節します。</p>	<p>5 再生ボタンを 押す</p> <p>再生</p> <p>●「CH」の点滅が止まり、微調 節ができました。</p> <p>ほかのチャンネルも微調節 したいときは</p>	<p>6 チャンネル設定 ボタンを押す</p> <p>チャンネル設定</p>
--	---	---	--	--	---

チャンネル表示の数字をテレビ番組の数字に合わせるには

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。
この場合、次のようにして数字を合わせておくと便利です。
(設定する前に、どのチャンネルをどの数字に設定するかを決めてメモしておくと便利です。)

例：チャンネル表示「CH60」を「CH04」に変えたいとき

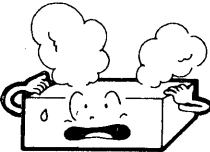
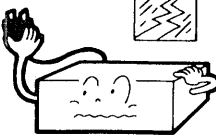

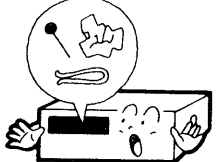


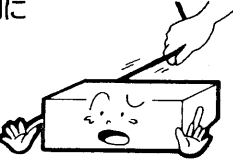



<p>1 メニュー ボタンを押す</p> <p>メニュー</p> <p>●メニュー画面が現われます。</p>	<p>2 ④ を押す</p>	<p>3 変えたいチャンネルをピ デオの表示窓に表示する</p> <p>チャンネル</p>	<p>4 チャンネルを 合わせる</p>	<p>5 メニュー ボタンを押す</p> <p>メニュー</p> <p>●ビデオの表示窓のチャン ネル表示が、変更した数字に変わ ります。</p>
---	-----------------------	--	---------------------------------	--

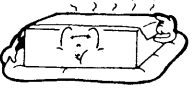


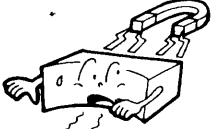

他のチャンネルも変えたいときは

ご自分でビデオを設置するには

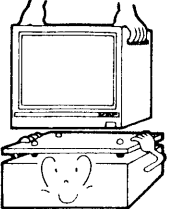
受信チャンネルの合わせかた(つづき)

<p>異常なときは</p> <p>煙が出ている、変な音やにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。</p> 	<p>雷が鳴り出したら</p> <p>すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。このとき、危険ですのでアンテナ線には絶対に触れないでください。</p> 
<p>カセット挿入口にご注意</p> <p>お子様がかセットの挿入口に手を入れないようご注意ください。</p> 	<p>異物は入れないで</p> <p>カセット挿入口や通風孔などに金属や燃えやすいものが入ると危険です。感電や火災の原因になりますのでご注意ください。</p> 
<p>水は禁物です</p> <p>ビデオの上に水の入った容器を置かないでください。万一、水などが中に入ったときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。</p> 	<p>カバーはあけないで</p> <p>ビデオの内部には電圧の高い危険部分もあります。感電や故障の原因になりますので、絶対にあけないでください。</p> 
<p>電源コードは大切に</p> <p>電源コードに傷をつけないようご注意ください。コンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。</p> 	<p>長期間ご使用にならないときは</p> <p>安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。</p> 

ビデオの置き場所にもご注意ください

<p>風通しの悪い所 (通風孔をふさがないでください)</p> 	<p>不安定な所</p> 	<p>油煙や湯気が当たる所やホコリの多いところ</p> 
<p>磁気を発生する機器の近く</p> 	<p>直射日光が当たる所や熱器具の近く</p> 	<p>ラジオの近く</p> <p>ビデオの近くでラジオなどを使用すると、ラジオ放送に「ブー」というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。</p>


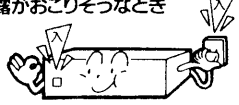
ビデオの上にテレビを載せるときは

<p>ビデオスパーサー VR-VS18 (別売品)</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオには19形(約20kg)以上のテレビは載せないでください。 ●ビデオの上に直接テレビを載せたときや、テレビの上に直接ビデオを載せると画面が乱れることがあります。このときは、ビデオスパーサーVR-VS18(別売品)をご使用ください。
---	--



使用上のご注意

<p>お手入れについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオをベンジン、シンナーなどでふいたりしますと、変質したり塗料がはげることがありますので、避けてください。 ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
<p>ビデオを使わないとき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオカセットをビデオから取出しておいてください。
<p>衝撃を与えないでください</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●持ち運ぶときは、家具にぶつけないようご注意ください。
<p>接続機器について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書もよくご覧ください。
<p>外国では使えません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This video tape recorder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

結露について(ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます)

<p>このようなときに結露になります</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。 ●暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。 ●夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。 <p style="text-align: center;">結露したまま使用するとテープやビデオヘッドを傷めます。</p>
<p>結露がおこりそうなとき</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にしておくと、結露が生じにくくなります。 ●結露が生じてから電源コードを差し込んで、水滴を急激に蒸発させることはできません。約2時間お待ちください。

アンテナについて

<p>アンテナを立てるとき</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。 ●アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。 ●金属の多い場所に配線することも避けてください。 ●VHFアンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。
<p>アンテナの点検</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを定期的に点検、交換をすることが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされる場所では寿命が短くなりますので早目に点検してください。
<p>テレビのうつりが悪いときは</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビのうつりが悪くなる場合があります。このときは、ブースター(別売品)をご使用ください。

安全にお使いになるため、このようにしてお使いください

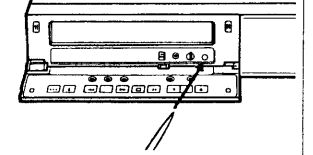
故障かな...というときは

○下記のことをお調べのうえ、それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご相談ください。なお、アフターサービスについては57ページをご覧ください。

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	●電源コードがコンセントに接続されていない。	●電源コードの差込みプラグをコンセントに接続してください。	—
リモコンで操作できない。	●乾電池が古くなっている。(約1年が目安です)。 ●リモコン切換ボタンを正しく選んでいない。	●乾電池を交換してください。 ●リモコン切換ボタンを正しく合わせてください。	10 10
電源は入るがビデオの操作ができない。	●各種安全装置が働いている。	●電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントに入れた後、電源を入れてください。	—
テープが止まる	●テープが最初または最後まで巻取られている。	●カセットを確認してください。	9
録画ができない	●アンテナ線の接続が正しくない。 ●受信チャンネルの調整がずれている。	●アンテナ線を正しく接続します。 ●受信チャンネルを正しく調整します。	42 48
タイマー録画ができない。	●タイマーが正しくセットされていない。 ●時計が「— : —」になっている。	●タイマーを正しくセットしてください。 ●停電があったため、予約が消えました。再度、現在時刻を合わせたあとタイマーを合わせてください。	24 27
クイックタイマー録画ができない。	●「つめ」の折れたカセットが入っている。	●「穴」をゼロハンテープでふさぎます。	26
後面端子に接続した機器から録画できない。	●「L」(外部入力)を選んでいる。	●入力切換ボタンで「L」(外部入力)を選びます。	38
再生の画面に帯状のノイズが出たり、画面がモヤモヤする。	●古いテープや他のビデオで録画したテープを再生するときにおこることがあります。(トラッキング調整がずれています。)	●オートトラッキングまたは手動トラッキング調整で最良に映るよう調整してください。	20
再生の画面がきれいにうつらない。	●テレビのチューニングが正しくない。 ●ビデオヘッドが汚れている。	●テレビのチューニングをしなおしてください。 ●ヘッドの清掃が必要です。ヘッドクリーニングボタンでヘッドを清掃してください。それでも映りが悪いときは、別売りのヘッドクリーニングテープT-CL01をご使用になりヘッドの清掃をしてください。それでもまだ映りが悪いときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	— 3 55

停止状態で約5分たつと多少音がしますが故障ではありません。これは内部のテープ保護メカが動作する音です。

症状	原因	処置	参照ページ
再生するとおかし	●音声ヘッドが汚れています。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープT-CL01をご使用になりヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	下欄
日本語と外国語が同時に聞こえる。	●音声モニターボタンで「ステレオ」を選んでいる。	●音声モニターボタンを押して、聞きたい音を選びます。	19
Hi-Fiサウンドの音が出ない。	●音声モニターボタンで「ノーマル」サウンドを選んでいる。	●音声モニターボタンを押して、Hi-Fiサウンドを選びます。	19
ダビング編集ができない。	●正しく接続されていない。 ●録画側ビデオが「外部入力」を選んでいる。	●接続を確認し、正しく接続してください。 ●録画側ビデオは「外部入力」を選びます。	38
その他	●集中表示窓の表示が誤表示したり、操作ボタンを受け付けない。 ●内蔵のマイコンの誤動作のせいです。	●リセットスイッチをつまようじなどで押す。表示部がリセットされます。その後セットしなおしてください。	—



■ビデオを使っていると……

●ヘッドの清掃 (テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面になるときは)



ビデオを使っているとこんな症状が出ることがあります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。3ページの要領でヘッドクリーニングを行ってください。それでも汚れがとれないときは、別売りヘッドクリーニングテープT-CL01をご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

★ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書を良くお読みいただき、正しくご使用ください。

●ヘッドの摩耗

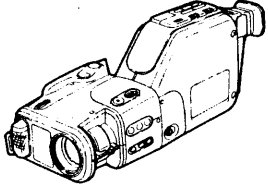
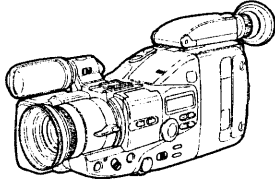
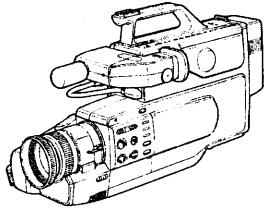
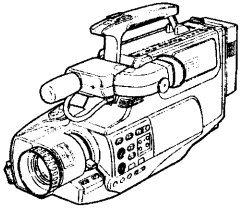
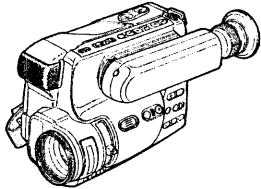


ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映りません。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い求めの販売店にご相談ください。

長年ご使用のビデオの点検をしよう!

このようなことはありませんか	お願い
<ul style="list-style-type: none"> ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●映像が乱れたり、色がきれいにでない。 ●その他の異常や故障がある。 	故障や、事故防止のためスイッチを切り、コンセントから電源プラグをはがして必ず販売店にご相談ください。

別売品の紹介

VHS-Cビデオカメラ VM-C1/VM-C2	S-VHS-Cビデオカメラ VM-S83	VHSビデオカメラ VM-5200
		
S-VHSビデオカメラ VM-S8200	8ミリビデオカメラ VM-E10	ビデオカセットテープ
		GR PROシリーズ T-120GR(E) T-60GR(E) Hi-Fi(E)シリーズ T-120Hi-Fi(E) T-60Hi-Fi(E) HGEシリーズ T-160HGE T-120HGE T-60HGE T- 30HGE T- 20HGE AXシリーズ T-160AX T-120AX T- 60AX T- 30AX
ビデオスパーサー	ヘッドクリーニングテープ	ブースター
VR-VS18	●乾式ビデオヘッドクリーナー T-CL01 ●湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210	●HD-WB2A (VHF・UHF・FM兼用) ●HVTR-W26A (VHF・UHF兼用) ●HVTR-U26A (UHF専用)
接続コード		
HPU-121 (音声用)		

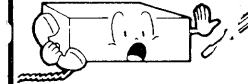
アフターサービスと保証

保証書と保証期間について



- このビデオデッキには保証書がついています。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。(保証書に詳細を記載しておりますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは



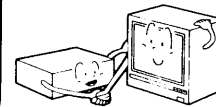
- ビデオデッキが正常に動作しないときは、「故障かな...というときは」(54ページ)をご覧ください。それでも不具合なときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- アフターサービスを申し付けたいときは、次のことをお知らせください。
- 形名 VT-F450
- 症状 できるだけ詳しくご説明ください。
- 住所・電話番号 付近の目印もつけ加えてください。

転居されるときは



- 転居で、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もってお買い求めの販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店をご紹介します。なお本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切換えが自動的に行われますので、切換えなしでどちらの地域でも使用できます。

美しい画面を見るための点検



- ビデオデッキは、カラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、使用環境(温度・湿度・ホコリ)などに左右されますが、およそ1,000時間を目安に点検(清掃・注油・一部部品交換)されることをおすすめいたします。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

部品の保有期間 当社は、このビデオデッキの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。

- ビデオカメラ、ビデオ及びビデオカセットを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。
- 大切な録画(結婚式など)の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機の「EP」モードで録画したテープは「SP」モード専用のVHSビデオで再生できません。
- あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

音声モニター

19

二カ国語放送などを再生するときに便利な機能です。音声モニターボタンを押すたびに、日本語だけ、外国語だけ、日本語と外国語といった具合に音声切り換わります。録画中に切り換えても、録音内容は変わりません。(日本語・外国語の両方が録音されます。)

トラッキング調節

20

テープを再生すると画面に白い帯状のノイズが出る場合があります。これは、録画された部分をヘッドが正確になぞっていないためにおこります。これを正確になぞるように調節することをトラッキング調節といいます。デジタルオートトラッキングは、この調節を自動化したものです。

入力切替

38

他の機器から録画・録音するときに必要な切替です。ビデオは通常、テレビ番組を録画できるようになっています。入力切替ボタンで「L」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

Hi-Fiサウンド

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。ふつうのビデオは音声録音/再生するのに固定のヘッドで録音/再生します。一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-Fiサウンドです。

ビデオ専用チャンネル

46

1または2いずれかのチャンネルです。映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルのうち放送のないチャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオ専用チャンネルです。ビデオ後面にあるチャンネル切替スイッチも切り換えます。

ダビング

38

2台のビデオを接続して、テープを複製することをダビングといいます。ダビングしたテープは多少画質が低下します。

ビデオ/テレビ切替

16

ビデオのVHFアンテナ出力の切替です。「ビデオ」にしておくと、映像と音声1または2チャンネルの放送(ビデオ専用チャンネル)としてテレビに供給されます。ビデオの電源を切ったときは「テレビ」になっており、テレビは普通に使用できます。ビデオ/テレビ切替ボタンで切り換えます。

VISS

32

Video Index Search Systemの略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。VISS信号は、録画時に自動記録されます。

ブースター(電波増幅器)

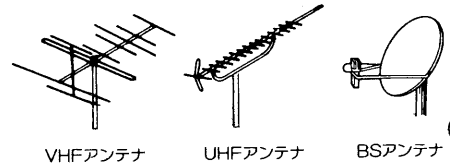
56

名前の通り電波を増幅します。電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることができ、増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

VHFとUHF放送

42

テレビ放送にはVHFとUHF放送があります。(最近ではBS(衛星)放送もあります。)VHF放送は1~12チャンネル、UHF放送は13~62チャンネル、BS放送はBS1~BS15チャンネルで構成されます。それぞれの放送に応じたアンテナが必要で、アンテナの形を見ると、どの放送を受けているか、よく分ります。



VHFアンテナ UHFアンテナ BSアンテナ
※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

録画モード(EP/SP)

14

ビデオには、「標準」と「3倍」の録画モードがあり、録画時に切り換えられます。SP(標準): テープスピードが標準の速さです。画質を重視するときには「SP」で録画することをおすすめします。EP(3倍): テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「SP」に比べて3倍長く録画できます。再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り換わります。

あ・い・う・え・お

アンテナアダプター	42
裏番組録画	16
衛星放送	40
オーディオ録音	39
オートスキヤンプレイ	32
オートBLUE	31
オートリワインド	15
オートリワインドシャットオフ	18
オフタイマー	35
お好みセレクト	31
音声多重放送	19
音声モニター	19

か・き・く・け・こ

外部入力	38
クイックタイマー録画	23
結露	53
高速サーチ	22
高速巻戻し	15
コマ送り再生	21
混合器	42

さ・し・す・せ・そ

シアターボタン	36
主音声	19
受信チャンネル	48
スキップ再生	21
ステレオ放送	19
スロー再生	21
静止画再生	21

た・ち・つ・て・と

タイマー録画	24
チャイルドロック	37
チャンネル設定	48
デジタルオートトラッキング	20
テープの残量表示	30
テープリターン	34
テープリフレッシュャー	36
テレビ画面表示	30
テレビの操作	11
同軸ケーブル	43
同時録画	14
飛びこし設定	49
トラッキング調節	20

な・に・ぬ・ね・の

二重音声放送	20
入力切替	38
ノーマルサウンド	58

は・ひ・ふ・へ・ほ

早送り再生	22
ビジュアルサーチ	22
ビデオ専用チャンネル	46
ビデオ/テレビ切替	16
副音声	19
フィーダー線	44
ブースター	58
ブルーバック機能	31
分波器	43
ヘッドホン	39
補助電源コンセント	39

ま・み・む・め・も

巻戻し再生	22
メニュー	28
モード表示	30
モノラル	19

や・ゆ・よ

予約	24
予約の確認	28
予約の取消し	28

ら・り・る・れ・ろ・わ

リアタイムカウンター	34
リモコン切替ボタン	10
レベルメーター	19
レンタルスイッチ	36
録画時間	9
録画モード	14
ワープサーチ	22

A・B・C

AV-BUS端子	47
AVコントロール端子	47
BS放送	40
BSワープ	40
DRPS	33
ENDLESS PLAY	31
EP「3倍」	14
ERROR表示	27
FULL表示	27
Hi-Fiサウンド	58
RENTAL PLAY	31
SP「標準」	14
VISS	32